



令和 5 年 度

施 策 と 予 算 の 概 要

～新しい時代をリードする「やさしい未来都市」の実現～

東 広 島 市

令和5年度 施策と予算（案）の概要

目次

1	第五次東広島市総合計画の策定と推進	1
2	本市を取り巻く社会・経済環境	2
3	計画推進のための政策、組織、予算の連動	2
4	予算（案）の規模とポイント	5
5	主な財政指標の状況	6
6	今後の財政運営	6
7	予算編成上のポイント	7
	(1) 「選ばれるまち」の実現に向けた施策の包括的推進	7
	① 子どもの健やかな成長を支え、仕事と子育ての両立を応援	7
	② 多様性を踏まえた人口減少地域総合対策	11
	(2) 重点施策	15
	① 命と暮らしを守る体制の整備	16
	② 仕事と生活価値を創造する基盤づくり	18
	③ 誰ひとり取り残さない多様性と調和社会の実現	20
	④ 多彩な地域の特徴を生かしたまちづくり	22
	⑤ 時代を担う子どもを育てる教育・保育の推進	24
	⑥ 持続可能な次世代環境都市の構築	26
	(3) 生活関連事業の効果的な推進	27
	(4) 地域別計画の着実な推進	28
	(5) 施策の根幹をなすSDGsの理念とDXの推進	33
	① SDGs未来都市の実現	33
	② DXの推進	34
8	第五次東広島市総合計画のまちづくり大綱における主な事業	35
【資料編】		
1	会計別予算の規模	47
2	一般会計歳入の款別内訳	48
3	一般会計歳出の款別内訳	50
4	一般会計歳出の性質別内訳	52
	令和5年度東広島市下水道事業会計予算（案）の概要	54

1 第五次東広島市総合計画の策定と推進

- ・令和2年3月に、第五次東広島市総合計画を策定し、「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市」の実現に向け、「世界に貢献するイノベーション創造のまち」「暮らし輝き笑顔あふれる生活価値創造のまち」を目指して果敢にチャレンジすることとしている。
このため、「仕事づくり」「暮らしづくり」「人づくり」「活力づくり」「安心づくり」の5分野の基本計画を策定し、積極的に施策を展開する。
- ・特に、誰ひとり取り残さない持続可能な社会を目指すSDGsの理念は世界共通の価値観であり、総合計画の根底を流れる理念として位置付け、その達成に向けては、DX（デジタルトランスフォーメーション）をはじめとする先端技術の活用を積極的に推進する。
- ・市内の9つの地域について、それぞれの地域資源を活かしたまちづくりを進めるため、目指すべき方向性である「地域別計画」を掲げた。これを基に市民の意見を踏まえて、令和3年度に策定した地域別のアクションプログラムに沿って各施策を推進することで、活力の湧き出る地域づくりを進める。

◆将来都市像

「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市」

～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島～

◆目指す方向性

「世界に貢献するイノベーション創造のまち」

⇒大学を中心とした高度な研究開発機能を活かして革新的な技術やアイデアを次々と生み出すことで、世界の様々な課題解決に貢献する

「暮らし輝き笑顔あふれる生活価値創造のまち」

⇒中山間地域において、豊かな自然環境を享受しながら快適な暮らしを送る

◆まちづくり大綱（5つの柱）

- ①仕事づくり～知的資源と産業力で多様な仕事生まれるまち
- ②暮らしづくり～自然と利便性が共存する魅力的な暮らしのあるまち
- ③人づくり～誰もが夢を持って成長し活躍できるまち
- ④活力づくり～学術研究機能や多様な人材の交流から新たな活力が湧き出すまち
- ⑤安心づくり～自助・互助・共助・公助によって安心した生活を送れるまち

◆地域別計画

市内の9つの地域ごとに、将来像、主要な施策の方向性をまとめたまちづくりビジョン

2 本市を取り巻く社会・経済環境

① 少子化の進行

- ・新型コロナウイルス感染症の長期化等による過去最低の出生数
- ・国の少子化対策の強化（異次元の少子化対策）

② 人口偏在と過疎化の進行

- ・東京圏等の大都市圏への人口集中と地方の過疎化の進行が継続
- ・本市中心部の人口集中と周辺部の過疎化の進行

③ SDGsとDXの浸透

- ・自然環境や社会活動の維持等、持続的な社会への認識が変化
- ・SDGsに関する企業や大学等の取組みが拡大
- ・DXの推進による生産性向上の必要性
- ・DXの進展に伴う地方での生活の可能性の向上
- ・テレワークの推進等によるワークライフバランスの意識の向上

3 計画推進のための政策、組織、予算の連動

急激な変化を見せる社会、経済環境の中においても、第五次東広島市総合計画の実現に向けて力強く前進していく必要がある。このため、一貫して熱意と強い意志を持ち、政策形成から予算編成までを進めた。

『新しい時代をリードする「やさしい未来都市」の実現』

① 地域課題に応じた包括的施策の推進

- ・これまで、第五次東広島市総合計画の目指すべき姿を実現するために、着実に施策を推進してきた。全国的に少子化が進む中において、本市が「選ばれるまち」として、さらなる成長を遂げるためには、まちの活力の源となる若者や女性が生活しやすいまちづくりを進める必要がある。
- ・人口減少地域に対して、これまで様々な過疎対策を講じてきたが、大きな成果を得ることはできていない。これらの地域には、それぞれの地域性があり、一律の対策のみでは大きな効果を期待することはできないため、地域課題に応じた対策や人口減少地域に特化した支援策等を講じることで、地域の活力の維持を図っていく必要がある。
- ・施策を分野別に進めるのではなく、体系的に取りまとめて包括的に推進することで、施策の相乗効果を生み出すとともに、組織を挙げて力強く着実な取組みを進め、市民が幸福を感じながら生活を送り、住みたい、住み続けたいと思えるまちの実現を目指す。

《目指すべき姿を実現するために取りまとめた施策》

- ◆子どもの健やかな成長を支え、仕事と子育ての両立を応援
- ◆多様性を踏まえた人口減少地域総合対策

② 目的別事業群の整理と施策の重点化

- ・長期的視点に立ち、第五次東広島市総合計画に掲げる将来都市像の実現に向けたまちづくりの5つの柱に沿って、未来のあるべき姿を目指して施策を検討し、論理的な思考によって構造化を行うなど、必要な施策を事業群として整理する。
- ・直面する社会、経済情勢に的確に対応するとともに、やさしい未来都市会議や各町別に行うまちづくり夢トークでの市民等の意見を踏まえて、重点的に次の施策に取り組む。

《重点施策》

- ◆命と暮らしを守る体制の整備
- ◆仕事と生活価値を創造する基盤づくり
- ◆誰ひとり取り残さない多様性と調和社会の実現
- ◆多彩な地域の特徴を生かしたまちづくり
- ◆時代を担う子どもを育てる教育・保育の推進
- ◆持続可能な次世代環境都市の構築

③ 施策推進体制の整備

- ・重点施策の計画的な推進のために職員の増員を行うほか、外部団体等多様な主体とのさらなる連携、外部人材の積極的な活用を推進する。

◆業務執行体制の強化と施策の推進

- ・「イクボス宣言」による働き方改革の推進、ワークライフバランスの実現
- ・年間を通じた採用活動により、計画的・戦略的に職員の確保を図り、重点分野を増員
- ・地域共生の推進、農林業基盤の復興促進、企業立地の促進、総合交通対策の推進に係る体制強化等

◆多様な主体との共創、専門人材の活用

- ・広島大学、近畿大学、広島国際大学との Town & Gown 事業の推進
- ・生活デザイン・工学研究所（マツダ株式会社・株式会社博報堂）との連携
- ・教育文化振興事業団の体制強化、外部専門人材（法務、デジタル等）の活用等

④ 予算編成

- ・第五次東広島市総合計画を効果的かつ効率的に推進し、持続的発展に資するため、目的別事業群の点検と重点化から、施策推進体制の整備に至るまで一貫性をもった予算編成とする。

◆市民起点

- ・市民や地域の最新ニーズを的確に把握し、部局マネジメントによる現場視点の編成を加速

◆成果主義

- ・PDCAサイクルを踏まえ、ワイズスペンディング（賢い支出）を徹底

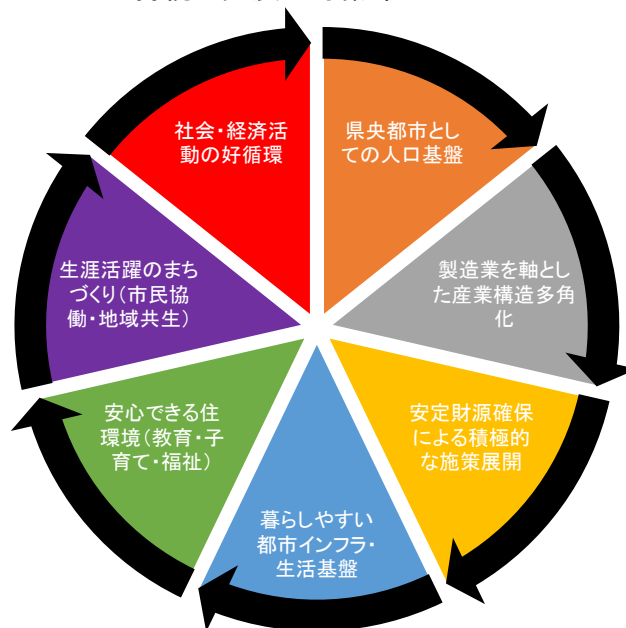
◆重要度

- ・目的別事業群の目的達成への寄与度に応じ、重要度・優先順位を判断

◆課題解決

- ・客観的な根拠に基づく事業の重点化により、課題解決を促進

持続的発展の好循環イメージ



4 予算（案）の規模とポイント

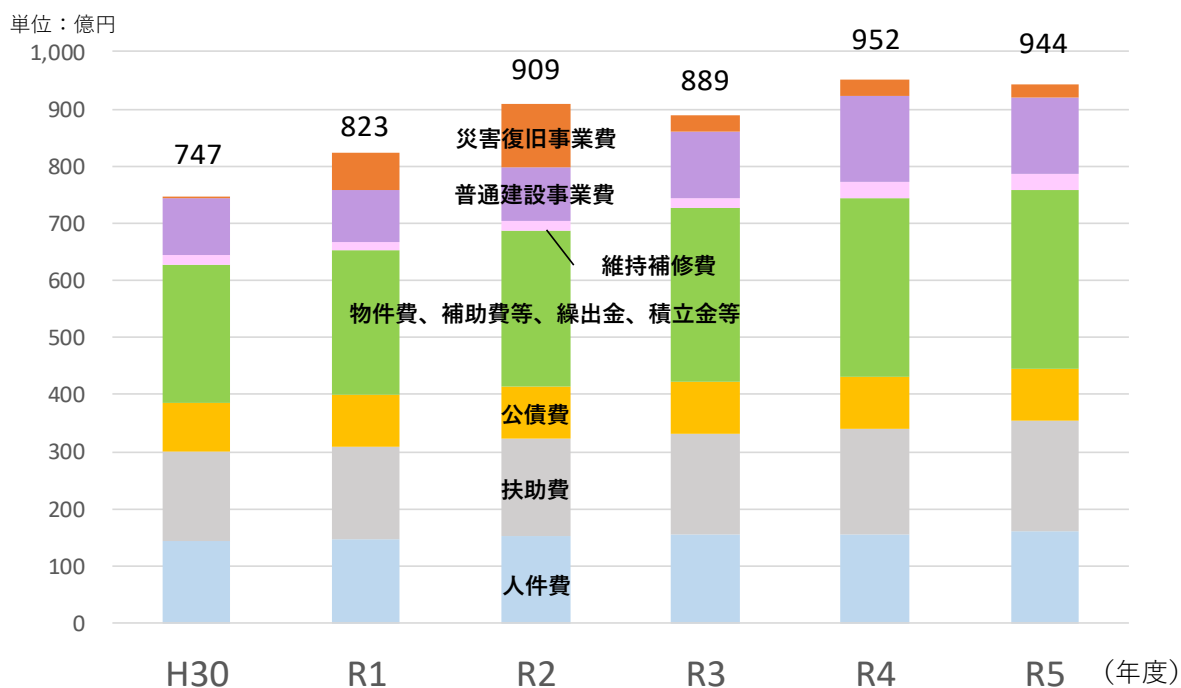
「子育てしやすく、移り住みたくなる未来都市へ！」

944億4千万円（前年度比△0.8%）

第五次東広島市総合計画の推進

- ・ 災害復旧・コロナ対応予算を除くと916.7億円（+0.8%）
- ・ 予算を支える市税は378億円を計上（+2.0%）
- ・ 子育て支援や人口減少地域総合対策を推進
- ・ 社会経済環境の変化に対応し、6つの重点施策に101.5億円（+1.3%）
- ・ 地域の特性に応じ、地域資源を活かした事業を幅広く展開

当初予算額の推移



5 主な財政指標の状況

① 主な財政指標の推移

		H30	R1	R2	R3	R4見込
経常収支比率	本市	87.6%	91.2%	88.3%	85.0%	—
	類似団体	88.9%	89.2%	89.1%	—	—
実質公債費比率	本市	0.3%	0.5%	1.0%	1.6%	—
	類似団体	5.3%	5.0%	4.4%	—	—
財政調整基金残高		128.2億円	132.5億円	152.7億円	152.7億円	128.5億円
地方債残高（一般会計）		771.3億円	746.9億円	748.7億円	757.0億円	754.6億円※

※繰越予定分を除く

② 令和3年度決算の状況

(1) 経常収支比率

- ・市税収入など経常一般財源等の増により減少

(2) 実質公債費比率

- ・類似団体と比較すると良好だが、災害復旧事業や普通建設事業により、やや上昇傾向

(3) 財政調整基金残高

- ・物価高騰対策や災害復旧工事の進捗等により、令和4年度は基金残高が減少する見込み

6 今後の財政運営

① 財源の見通し

- ・市税は、新型コロナウイルス感染症による影響は少なく、堅調な収入を継続
- ・特定目的基金（公共施設総合管理基金、地域振興基金等）を有効に活用
- ・防災・減災・国土強靱化等、国の推進する施策に呼応した有利な財源を確保

② 財政需要の見通し

- ・普通建設事業や公共施設（インフラ・建築物）の維持管理の必要性は増加
- ・社会保障に要する経費（扶助費：保育、障害者福祉、高齢者福祉等）は増加傾向
- ・教育に要する経費（学校施設の整備、情報通信機器の更新等）の増加
- ・都市基盤整備に要する経費（八本松駅前土地区画整理、西条第二地区、街路等）の増加
- ・物価高騰による固定経費の増額や防災インフラの整備に要する経費の増加

③ 総括

- ・地方債残高は、平成30年7月豪雨災害前までの繰上償還により一定程度を抑制
- ・市域全体の持続的発展を促す施策に取り組み、地域経済の好循環を構築
- ・現時点では良好な財政状況にあるが、基金残高の減少に留意
- ・中長期的な視点を踏まえ、効率的かつ慎重な財政運営が必要

7 予算編成上のポイント

(1) 「選ばれるまち」の実現に向けた施策の包括的推進



少子化や周辺地域における人口減少といった本市が直面する問題を解決し、市民が幸福を感じながら生活を送り「住みたい、住み続けたい」と実感できるまちを実現するために講ずべき施策を、体系的に取りまとめて推進していく。

① 子どもの健やかな成長を支え、仕事と子育ての両立を応援

19億7,601 万円（前年度 15億6,143万円）

少子化の進展は現在の社会がもつ課題を集約的に表しているとの認識のもと、子育て世代が明るい展望を描き、安心して子どもを産み育てられる社会の実現を目指す。

併せて、次の時代を担う子どもの健やかな成長を育み、生涯にわたって充実した生活を送るための基礎を築くことができる環境づくりに取り組む。

令和5年度当初予算のポイント

- **県内トップクラスの拠点で妊産婦等の不安や心配に切れ目なく寄りそう**
 - ・ 出産育児の相談支援拠点（「すくすくサポート」）をさらに増設し、きめ細かなサポートを身近な場所で提供する体制を充実させることで、より効果的な伴走型相談支援を実現する。
- **子育て世帯の医療にかかわる経済的負担を軽減**
 - ・ 乳幼児等医療費の支給対象を入院18歳、通院15歳まで拡大し負担を軽減する。
- **積極的な保育士確保対策で年間を通じた保育所等の待機児童を解消**
 - ・ 保育士への給付金支給期間の延長に加え、県外出身者への加算や奨学金の返済に対する支援制度を新設し、保育サービスの提供体制を強化する。
- **本市から発信する「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進**
 - ・ ICTを活用した授業づくり、AI技術を用いたデジタルドリルの導入、ラーニングルーム（協働学習ルーム）での遠隔教育や異学年交流等により、未来の学びを促進する。
- **広島大学と連携し、高い知見と専門性を実践に活用**
 - ・ 発達支援のうち要経過観察児を対象とした健診事後親子教室を連携して実施する。
 - ・ 広島大学教育ビジョンセンター（EVRI）との協働による遠隔教育を実施する。

参考資料<1> 学識経験者、子ども子育て支援事業関係者、保護者等からの意見等

やさしい未来都市会議／子ども・子育て会議

主な意見 [重視すべきと考えられる項目]

- ・子育ての不安が解消され安心できるサポートがあること (伴走型支援等)
- ・必要なときに安心して子どもを預ける場があること (年度中途の入所等)
- ・子どもに関わる様々な経済的負担が軽減されること (子育て家庭向け支援等)
- ・男性が主体的に家事育児へ参画できる職場、社会になること (働き方改革等)
- ・公園、遊び場その他子どもの居場所等が充実していること (子育てインフラ等)
- ・分かりやすく利用しやすい子育て支援制度であること (情報発信等)

参考資料<2> 妊娠期から切れ目なくきめ細かなサポートを行う拠点の設置状況

市町名	子育て世代包括支援センター(すくすく)	地域子育て支援拠点	年少人口 (0歳～14歳)
	厚労省ホームページより	厚労省ホームページより	2020年国勢調査より
広島市	8か所	22か所	159,102人
呉市	1か所	12か所	23,054人
竹原市	1か所	2か所	2,126人
三原市	4か所	12か所	10,447人
尾道市	7か所	6か所	14,334人
福山市	13か所	35か所	60,790人
府中市	2か所	4か所	3,922人
三次市	3か所	7か所	5,954人
庄原市	1か所	9か所	3,440人
大竹市	1か所	3か所	2,859人
東広島市	12か所	26か所	26,752人
廿日市市	6か所	3か所	14,940人
安芸高田市	1か所	6か所	2,623人
江田島市	1か所	1か所	1,661人
府中町	2か所	4か所	7,530人
海田町	2か所	3か所	4,393人
熊野町	1か所	1か所	2,889人
坂町	1か所	2か所	1,826人
安芸太田町	1か所	2か所	466人
北広島町	1か所	4か所	1,826人
大崎上島町	1か所	1か所	553人
世羅町	1か所	2か所	1,598人
神石高原町	1か所	1か所	707人
全 国	2,486か所	7,856か所	1,503万人

ステージ、年齢等に応じた支援・人的体制の強化（新規拡充等）

	妊娠	乳幼児期		学齢期	
	出産	在宅	保育所、幼稚園、認定こども園等	小学校	中学校
妊娠 切れ目からの 支援	身近な場所で伴走型の相談支援				
	出産・育児サポートセンター「すくすくサポート & 地域すくすくサポート」				
	妊娠出産、子育て期の経済的支援				
	産前・産後サポート、産後ケア利用料助成		乳幼児等医療費の支給対象の拡大（入院18歳、通院15歳へ）		
質の 高い保育・ 教育の 推進	大学と連携した子どもの発達支援				
	広島大学との連携による健診事後親子教室				
	子どもたちの生きる力を育む保育				
	子どもの5つの力を育む保育環境づくり				
仕事と 子育てを 両立できる 環境	大学や研究機関等の知見を活かした保育・教育・学び				
	未来を担うこどもの育ちサポート				
			<ul style="list-style-type: none"> ・広島大学教育ビジョンセンター（EVR1）との協働による遠隔教育の実施 ・理系・イノベーション講座等の開催 		
	高い教育力を活かした学校教育の実践				
子育てを 地域で 支える 環境	安心して働ける環境の確保				
	保育サービス等受け皿拡大のための保育士確保				
			ファミリーサポートセンター		
	働く女性の応援				
子育てを 地域で 支える 環境	働き方改革の推進（ワークライフバランス講座、働く女性の相談室）				
	女性の就職支援				
	起業支援（創業塾の開催、ウーマンネットワークの形成）				
	地域活動、多世代交流支援				
子育てを 地域で 支える 環境	地域子育て支援センター				
	児童館				
	地域（こども）食堂の活動支援				
	地域と連携した青少年健全育成				
子育てを 地域で 支える 環境			<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の推進（校内特別支援教室の設置・スクールソーシャルワーカーの派遣） 		

① 妊娠期からの切れ目ない支援（8億2,371万円（前年度6億1,439万円））

- ・身近な場所での伴走型相談支援（出産・育児サポートセンター“すくすくサポート”）

拡 保健師や助産師へ気軽に相談できる拠点を13か所に
「おでかけすくすく」も充実（子育て応援ギフト支給等）

- ・妊娠出産、子育て期の経済的支援

拡 乳幼児等医療費の支給対象の拡大
（入院15歳→18歳、通院12歳→15歳）

拡 産後ケア・産前産後サポートの利用料助成

- ・大学と連携した子どもの発達支援

拡 健診事後親子教室の充実



② 質の高い保育・教育の推進（6億1,033万円（前年度4億8,398万円））

・子どもたちの生きる力を育む保育

子どもの5つの力を育む保育環境づくり

・高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践

教育内容の充実と学校運営の支援

新 学習eポータル・AI技術を用いたデジタルドリルの導入

新 ラーニングルーム（協働学習ルーム）の整備（遠隔教育や異学年交流等）

新 ICT支援員（授業支援）、生徒指導アドバイザー、日本語指導コーディネーターの配置

・大学や研究機関等の知見を活かした保育・教育・学び

未来を担うこどもの育ちサポートの推進

拡 広島大学教育ビジョンセンター（EVR I）との協働による遠隔教育の実施

拡 理系・イノベーション講座等の開催



③ 仕事と子育てを両立できる環境づくり

（2億2,236万円（前年度1億7,249万円））

・安心して働ける環境の確保

拡 保育サービス提供体制を強化し、待機児童を解消するための保育士確保

ファミリー・サポート・センターの運営

・働く女性の応援

働き方改革の推進（働く人と企業のそれぞれの視点からのワークライフバランス講座、働く女性の相談室）

女性の就職支援

起業支援（創業塾の開催、ウーマンネットワークの形成）



④ 子育て世帯を地域で支える環境づくり

（3億1,961万円（前年度2億9,057万円））

・地域活動・多世代交流支援

地域子育て支援センター・児童館の運営

地域（こども）食堂の活動支援

・地域と連携した青少年健全育成

拡 生徒指導の推進（校内特別支援教室の設置・スクールソーシャルワーカーの派遣）



② 多様性を踏まえた人口減少地域総合対策

7億1,447万円（前年度 4億9,266万円）

中心部では人口の増加が続いているものの、周辺地域においては、急激な人口減少の進行等、人口が偏在している。人口の減少している地域は、これからの時代において、生活の中で Well-being（幸福度）の向上を実感できるための大きな可能性を秘めており、これらの地域に特化した事業を推進することで地域の活力の維持を図る取組みをスタートさせる。

令和5年度当初予算のポイント

○ 人口減少地域総合対策

- ・「生産活動の活性化」、「所得の向上」、「消費の拡大」の3つの視点で効果的な事業を推進することで地域内での経済循環を進めるとともに、住宅や子育て、教育等の生活環境の整備や、それぞれの地域の特徴を捉えた事業を進めることで、「住みたい、住み続けたい」と思える、活力を維持した地域をつくりだす。

○ 地域に活性化をもたらす特性を活かしたまちづくり

- ・それぞれの地域の多様性に着目し、特色を活かした個別の拠点づくりや施策を推進することで、地域の特色を活かしたまちづくりを進めていく。

○ 地域内での生産を強化

- ・地域内での生産力を強化するため、意欲ある農業者の新たなチャレンジを支援するとともに、地場産品の出荷、流通を促進する。

○ 地域内での所得を拡大

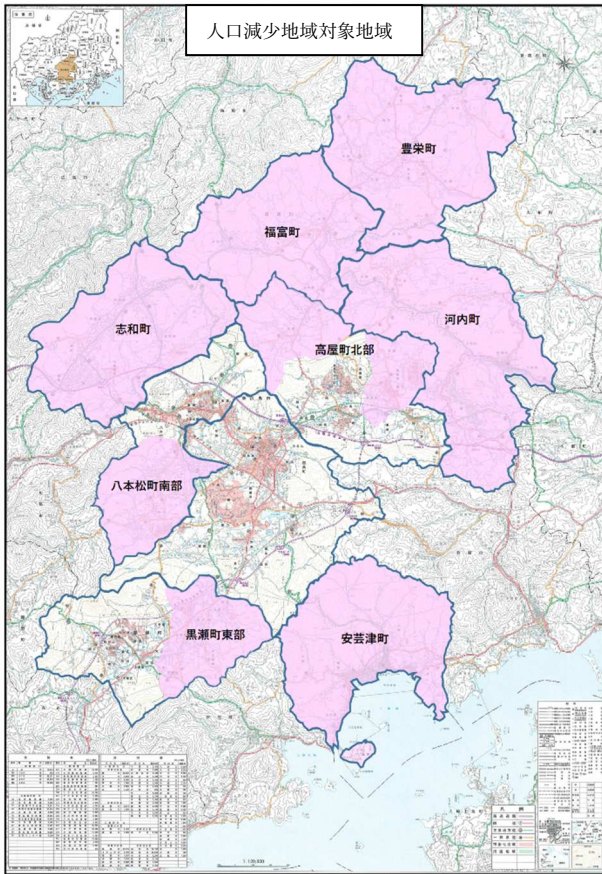
- ・地域内の就業者を増やし所得を増加させるため、人口減少地域において、移住者の創業を支援するとともに、子育て世代の新規就農を支援する。

○ 地域内での消費、支出の拡大

- ・地域内での消費を増やし、地域外へのお金の流れを抑制するため、学校給食への地場産野菜の供給拡大や民間企業と連携した地場産品の商品化に取り組む。

○ 住みやすい環境を提供

- ・住みやすい環境を整えるため、人口減少地域における空き家のリフォームや浄化槽整備支援を拡充するとともに、小規模校において特色のある教育活動を推進する。



左地図の着色した対象地域において、各地域の特性に応じた事業、地域を限定した事業、拡充した事業を行うことで、各地域の課題に個別最適に対応し、地域の活力維持を目指す。

【対象地域の定義】（左図）

今後も人口減少によりコミュニティの維持に影響が想定される住民自治協議会の区域

○全域が対象

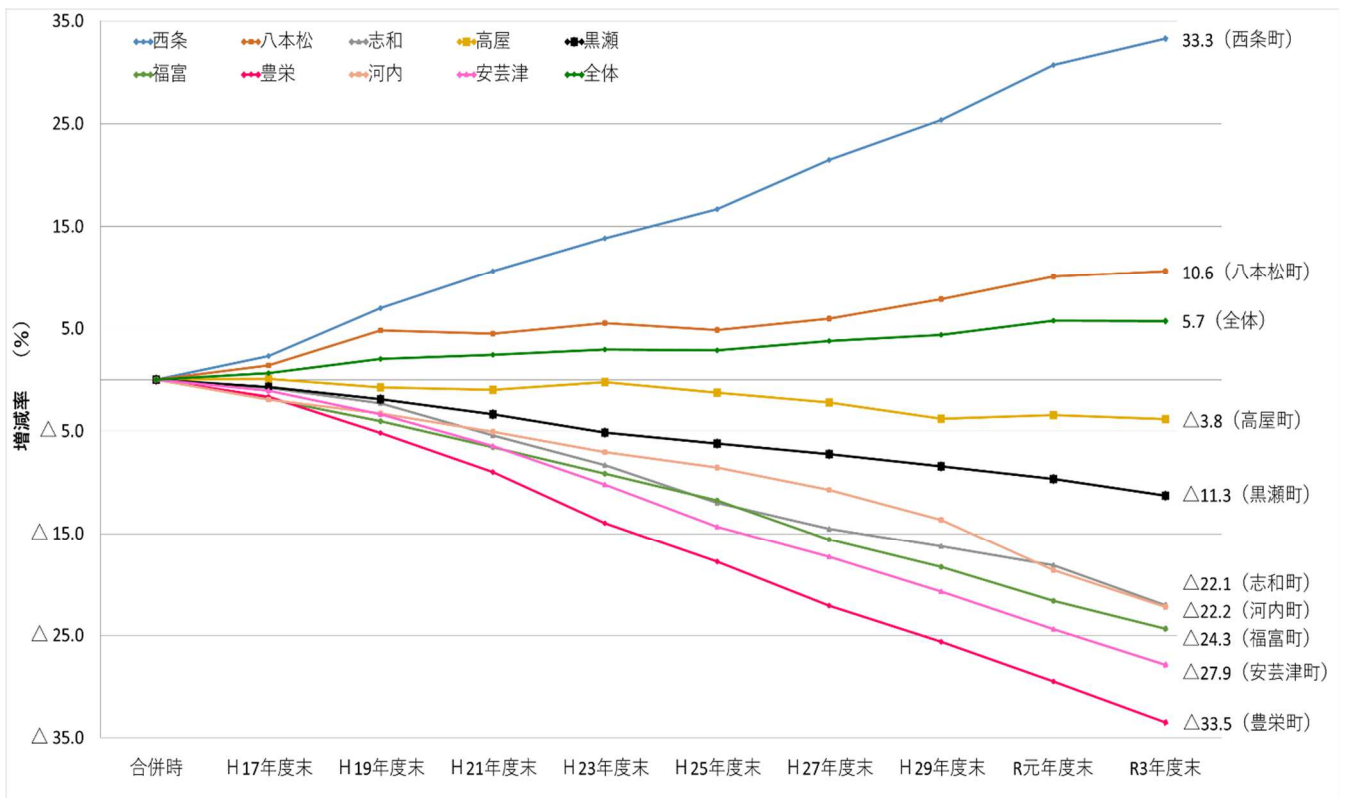
志和町、福富町、豊栄町、河内町、安芸津町

○一部地域が対象

八本松町南部、高屋町北部、黒瀬町東部

※対象地域は、今後の人口動態や施策の効果を検証しながら、随時、見直しを行っていく。

人口偏在の状況



※合併時の人口を0.0として、地域毎の人口の増減をパーセンテージで表示

① 地域に活性化をもたらす特性を活かしたまちづくり

(2,728 万円 (前年度 2,039 万円))

- ・地域拠点の活性化に向けた支援 (210 万円)
地域拠点の活性化へ向けた支援 (河内町)
- ・地域活動拠点形成モデルの構築 (972 万円)
地域への移住定住にかかる住居の確保支援 (八本松町)
地域活動拠点形成モデルの構築 (志和町)
- ・地域課題の解決に向けた支援 (1,546 万円)
拡 「生活価値創造のまち」の具現化 (福富町)
新 公共施設及び空き家の利活用 (豊栄町)
新 若者・女性、地域団体、企業のネットワーク構築 (安芸津町)

② 地域内経済循環の構築による収入の確保

(4 億 710 万円 (前年度 3 億 1,368 万円))

- ・地域内での生産の強化 (1 億 2,492 万円)
新 農業者の収益性・生産性の向上や販路開拓に繋がるチャレンジを支援
拡 農業企業の誘致促進
東広島こい地鶏の生産促進
拡 認定農業者パッケージ支援による生産力の向上 (土づくり、生産技術の高度化、
産地化等)
新 地場産品の出荷、流通の促進
新 福富地域における地域内循環モデルの構築
- ・起業等による地域内の所得の拡大 (1 億 1,000 万円)
拡 移住者等創業支援事業
新 人口減少地域で新規に就農する子育て世帯への支援
新規就農者育成研修事業
特定地域づくり事業協同組合による従事者の確保
地域おこし協力隊を通じた担い手の確保
- ・地域内での消費、支出の拡大 (1 億 7,218 万円)
拡 学校給食への地場産野菜供給拡大に向けたシステムの構築
道の駅湖畔の里福富及び市内直売施設の運営
新 民間事業者の知見を活用した産品の創出
拡 東広島こい地鶏、ジビエ等を活用した新メニュー開発の支援
新 食コンテンツのプロモーション
新 福富支所周辺公共施設を対象としたエネルギーの面的融通等の実証
新 脱炭素化に向けた取組みの実装
給食センター等の食品残渣の堆肥化

(※下線を引いた事業は、人口減少地域等の特定の地域で実施、又は支援の拡充を行う事業)

③ 移住・定住を支える生活環境の充実

(2億8,009万円(前年度1億5,859万円))

・住みやすい住宅の提供(2億3,939万円)

市街化調整区域における空き家の用途変更の緩和(非予算)

拡 空き家リフォーム支援

東広島市空き家バンクの運営

拡 浄化槽設置整備の促進

拡 交通空白地の解消に向けた取組み

コミュニティバスの運行

・子育てと教育の環境の充実(3,625万円)

「子どもの健やかな成長を支え、仕事と子育ての両立を応援」として実施
(7～10頁に掲載)

拡 小中一貫教育による特色ある教育課程の実施

新 ラーニングルーム(協働学習ルーム)の整備

拡 小中学校における遠隔教育の実施

新 小規模校における特色ある教育活動の推進

・移住定住の相談体制(445万円)

定住サポートセンターによる総合相談窓口の運営

移住定住に向けた情報発信

(※下線を引いた事業は、人口減少地域等の特定の地域で実施、又は支援の拡充を行う事業)



新規就農者研修



空き家のリフォーム

(2) 重点施策



※予算額は、項目に対応する予算を再集計している

第五次東広島市総合計画を策定し、施策を推進していく中で、多発する自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響と長期化、これらに伴う価値観の変容等、社会・経済情勢は大きく変化している。

このような中においても、第五次東広島市総合計画に掲げる「世界に貢献するイノベーション創造のまち」と「暮らし輝き笑顔あふれる生活価値創造のまち」を目指して、次の6つの施策を重点的に取り組んでいく。

新しい時代をリードする「やさしい未来都市」の実現

(単位：億円)

① 命と暮らしを守る体制の整備	24.4	(30.2)
● 災害死ゼロを目指した防災対策	20.3	
● 総合的な医療体制・救急医療の強化	4.1	
② 仕事と生活価値を創造する基盤づくり	26.2	(24.8)
● 中小企業者の活性化	2.8	
● 成長産業の集積と新たな企業立地、投資の促進	16.6	
● 豊かな農村生活の実現と農業の生産性向上	5.0	
● 東広島ブランドの確立	1.8	
③ 誰ひとり取り残さない多様性と調和社会の実現	27.0	(19.2)
● 安心して子どもを産み育てられるまちづくり	19.8	
● 新しいライフスタイルとしての地域共生社会の実現	7.0	
● 国際色豊かなまちの形成	0.2	
④ 多彩な地域の特徴を生かしたまちづくり	11.6	(14.4)
● 地域別計画の推進による地域の誇りの創出	9.0	
● 希望ある未来へ挑戦するプロジェクトの展開	2.6	
⑤ 時代を担う子どもを育てる教育・保育の推進	10.0	(9.7)
● 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進	4.7	
● 地域とともにある学校づくり、特色ある教育活動の充実	5.0	
● さらなる幼児教育・保育の質の向上	0.3	
⑥ 持続可能な次世代環境都市の構築	2.3	(1.9)
● 脱炭素化の推進	0.8	
● 豊かな自然環境の保全と活用	0.7	
● ごみの減量化プロジェクトの推進	0.8	
合計	101.5	(100.2)

伸び率 1.3%

※重点施策を掲載しており、5つの柱の事業費とは一致しない

※ () 内は前年度予算額

① 命と暮らしを守る体制の整備

24億3,543万円（前年度 30億1,983万円）

※コロナ関係経費を除いた額 23億202万円（前年度 17億6,485万円）

市民の命と暮らしを守るため、災害への対策については、全ての市民が安全・安心を感じながら生活ができるよう、ハード事業とソフト事業を織り交ぜ、多様なアプローチからの対策を講じていく。

医療においては、人口当たりの医師数が少ない本市の現状を鑑み、地域医療を担う医師数の不足の解消を図る施策を講じるとともに、高度医療の充実にに向けた取組みを進める。

令和5年度当初予算のポイント

- ・近年の激甚化する自然災害を踏まえ、浸水被害のリスクが高い河川を中心とした流域治水対策を推進する。
- ・これまで以上に速やかな市民の安全確保ができるよう、避難情報の発令と同時に避難所を開設するための、避難所遠隔開設システムを導入する。
- ・二次救急医療機関の医師確保により、二次救急医療体制と高次救急事案への対応力を強化する。

① 災害死ゼロを目指した防災対策

(20億2,501万円)（前年度 16億8,742万円）

・流域治水対策等の計画的な推進による安全・安心の確保（17億8,518万円）

局所豪雨に伴う浸水被害に対する流域治水対策

（利水ため池や水田等を活用した雨水貯留機能の定量的評価の検討）

雨水貯留機能の確保に向けた廃止ため池の調整池改築工事の推進

市街化区域内の土砂災害特別警戒区域を市街化調整区域へ編入する「逆線引き」の推進

内水浸水対策の整備促進（寺家排水区、西条排水区、七ツ池排水区の雨水排水施設整備）

急傾斜地の崩壊対策の実施

・地域防災力、災害対応力の強化（2億1,295万円）

新 迅速な避難所開設に向けた避難所遠隔開設システムの導入

新 被害情報の即時集約機能の強化や現場活動の迅速化に向けた消防団員アプリの導入

・救急救護体制の強化（2,688万円）

新 119番通報における映像通報システムの導入

② 総合的な医療体制・救急医療の強化

(4億1,042万円(前年度13億3,241万円))

・医師確保等による医療体制・救急医療の整備(2億7,701万円)

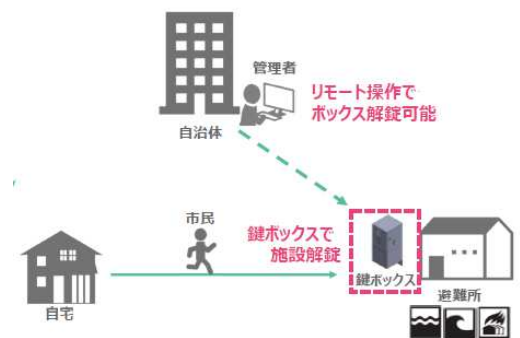
新 平日昼間の救急医療体制を充実させるため、二次救急医療機関の医師確保を支援
東広島医療センターへの寄附講座の設置による医師の確保(小児科、産婦人科、麻酔科)

・新型コロナウイルス感染症への対応(1億3,341万円)

ウィズコロナ時代に対応した感染予防等を実施



流域治水対策 (イメージ)



避難所開設システム (イメージ)

② 仕事と生活価値を創造する基盤づくり

26億1,968万円（前年度 24億7,737万円）

本市の活力を維持するためには、産業を活性化させ、質が高く、選択可能な「しごと」を市民に提供する必要がある。

このため、市民の起業や中小事業者の育成に取り組むとともに、成長産業の誘致や立地企業の投資の促進、仕事として選択ができる農林水産業の育成、地域資源を活かした観光振興に取り組む。

令和5年度当初予算のポイント

- ・産業構造の多様化のため、大学の研究シーズの実装化や大学発ベンチャーと市内事業者とのネットワーク構築を図る。
- ・本市の基幹産業である半導体関連産業を振興するため、「せとうち半導体共創コンソーシアム」に参画し、人材育成や技術革新に取り組む。
- ・認定農業者支援パッケージ（土づくり、高度化技術支援、生産・流通等の新たなチャレンジへの支援等）により、各農業者のニーズに応じた個別支援を実施する。
- ・G7広島サミットを新たな誘客のチャンスととらえ、ディスカバー東広島（DMO）や広島県観光連盟等、関係団体と連携し、歴史文化等を活用したツアーの推進や、「食」×「日本酒」のコンテンツを強化する。

① 中小企業者の活性化（2億8,386万円（前年度2億2,831万円））

・イノベーション創出支援（6,942万円）

新 大学発ベンチャーと市内事業者のネットワーク構築
東広島イノベーションラボ ミライノ+の活用促進

・地域企業の活性化支援（2億1,444万円）

拡 産業支援連携チームの運営による商工団体や市内企業等とのネットワーキングの強化
中小企業の強みを引き出し、経営改善を図るため、Hi-Bizによる伴走型支援の実施

② 成長産業の集積と新たな企業立地、投資の促進

（16億6,273万円（前年度19億1,163万円））

・産業用地の確保に向けた取組み（4,850万円）

新 「せとうち半導体共創コンソーシアム」への参画による市内半導体産業の振興
産業用地の確保に向けた、各候補地の開発可能性に係る調査の実施

・設備投資・最新技術導入の促進（16億1,423万円）

拡 工場等の新設・増設等の投資を促進

③ 豊かな農村生活の実現と農業の生産性向上

（4億9,656万円（前年度2億4,238万円））

・農林水産業の持続化（3億8,493万円）

新 グループ営農団体によるJA等への農作業の委託を支援

新 専門家を交えた集落法人の経営改善を支援

特定地域づくり事業協同組合による従事者の確保

拡 被覆植物の植栽による農地等の法面の維持管理の省力化を支援

拡 有害獣侵入防止のための防護柵設置を支援

・農業の生産性向上（1億1,163万円）

拡 生産性向上のための土壌分析を支援

新 栽培施設への温度や湿度等を管理する環境制御装置の導入を支援

新 産地化を目的とした「なす」の反収向上等に向けた栽培設備の導入を支援

新 農業者の収益性・生産性の向上や販路拡大につながるチャレンジを支援

新 人口減少地域で新規就農する子育て世帯への支援

拡 学校給食への地場産野菜供給拡大に向けたシステムの構築

④ 東広島ブランドの確立（1億7,653万円（前年度9,505万円））

・ブランド化の推進による観光振興

新 民間事業者の知見を活用した製品の創出

拡 東広島こい地鶏、ジビエ等を活用した新メニュー開発の支援

拡 G7広島サミットを契機とした市内周遊ツアーや、認知度向上に向けたプロモーションの展開等によるにぎわいの創出

ディスカバー東広島（DMO）を中心とした日本酒コンテンツの磨き上げや、本市の食や歴史・文化資源を活かした観光コンテンツの強化

新 日本酒の海外販路拡大の推進



Hi-Biz 相談風景



留学生対象の市内周遊ツアー

③ 誰ひとり取り残さない 多様性と調和社会の実現

27億79万円（前年度 19億1,790万円）

第五次東広島市総合計画に掲げるイノベーション力を発揮するためには、世界中から豊富な人材を集積することが必要であり、このための生活の受け皿として、誰にとっても住みやすい地域社会の実現に向けた施策を講じていく。また、SDGs未来都市として、多様性と包摂性を持った、誰もが取り残されることのない地域社会を目指す。

令和5年度当初予算のポイント

- ・ 保育士への給付金支給期間の延長に加え、県外出身者への加算や奨学金の返済に対する支援制度を新設し、待機児童の解消を図るとともに、保育サービスの提供体制を強化する。
- ・ 妊娠や子育ての不安を解消し、きめ細やかにサポートするため、地域すくすくサポートによる面談の機会の充実を図る。
- ・ 地域共生社会を実現するため、身近な地域の活動に参加するためのきっかけとなるイベントの提供や支援を行い、人と人がつながり、地域で支え合う仕組みづくりを促進する。

① 安心して子どもを産み育てられるまちづくり

(19億8,291万円（前年度12億5,551万円）)

・ 子育て支援のさらなる展開 (10億8,133万円)

- 新** 妊娠期から子育て期までの伴走型相談支援体制の充実
- 拡** 要経過観察児の初診待機の解消に向け、大学と連携した健診事後親子教室の開催
- 拡** 乳幼児等医療費の支給対象の拡大
入院：「15歳（中学校第3学年修了）まで」から「18歳（高等学校第3学年修了相当）まで」に拡大
通院：「12歳（小学校第6学年修了）まで」から「15歳（中学校第3学年修了）まで」に拡大

・ 保育環境の充実 (9億158万円)

- 拡** 待機児童の解消に向けた保育士の確保・定着
(短時間勤務者への職務奨励費、県外からの転入保育士への定着応援給付金の拡充)
- 新** 保育施設の整備・改修
(公立保育所の建替え検討、私立保育所等の増改築支援)

② 新しいライフスタイルとしての地域共生社会の実現

(7億30万円(前年度6億5,111万円))

・暮らしと生きがいを感じられ「健幸」に過ごせる地域共生社会の推進

(3,021万円)

新 身近な地域で人と人とのつながりを広げるために自治会等が行うイベント等を支援
新 広島国際大学との Town & Gown 「(仮) 東広島健幸ステーション」 準備室の立上げ

・地域共生社会の実現に向けた連携・協働の基盤づくり (7,784万円)

新 複合的な課題を抱える世帯への支援 (ヤングケアラーや地域課題解決へ向けた支援)
制度・分野・属性にかかわらない連携体制の構築

・高齢者への支援 (4億1,299万円)

地域包括支援センターの機能強化及び高齢者等の権利擁護支援
在宅医療・介護連携や認知症総合支援及び家族介護者等の支援

・障害者への支援 (9,816万円)

障害に対する理解促進のためのセミナー開催や意思疎通の支援
障害者に対する福祉助成券の交付等の生活支援

・生活困窮者への支援 (8,110万円)

生活困窮世帯の子どもに対する学習支援
生活困窮者の自立支援

③ 国際色豊かなまちの形成 (1,758万円(前年度1,128万円))

・外国人市民と地域住民との交流促進

ミライクリエを活用した外国人市民の国別コミュニティの形成や地域住民との交流の
促進

外国人市民の地域活動への参加促進や日本語学習の支援



移転建替える高屋中央保育所



地域共生活動『みんなで過ごそう正覚寺』

④ 多彩な地域の特徴を生かしたまちづくり

11億5,745万円（前年度 14億4,019万円）

本市の大学を中心とした試験研究機関や先端技術産業に備わる高度な研究開発機能、豊富な人材等を有効活用し、イノベーションを創造することによって、本市を牽引していく取組みを加速させる。

一方で、各地域という目線では、9つの地域の豊かな自然環境や歴史、文化等の特徴を活かし、誇りを持ちながら快適な生活が送れるための地域づくりに取り組む。

また、過疎化が大きな社会問題となる中、地域の活力を維持するため、新たな切り口での施策を講じる。

令和5年度当初予算のポイント

- ・地域活動拠点形成モデルの構築等、地域それぞれの特性を活かし、活力が湧き出すまちづくりを推進する。
- ・市全体が学びのキャンパスとなり学びと実践の好循環を生み出すため、特色ある図書館づくりやスポーツ施設の聖地化等を積極的に推進する。
- ・大学と一体となったまちづくりを推進するため、市内大学と Town & Gown を展開し、地域社会の課題解決に取り組む。

① 地域別計画の推進による地域の誇りの創出

(8億9,710万円（前年度10億8,118万円）)

・地域別計画の着実な推進～活力が湧き出す9つの地域～（28～32頁に掲載）

※地域の特性や課題に応じた地域個別の事業の展開

西条町	西条第二地区の整備 等
八本松町	八本松駅前土地区画整理事業 等
志和町	地域活動拠点形成モデルの構築 等
高屋町	高屋西地域センター等複合施設の整備 等
黒瀬町	「健康・福祉と交流のまち」の推進 等
福富町	地域内循環モデルの構築 等
豊栄町	公共施設のあり方の検討や空き家の利活用 等
河内町	地域拠点の活性化へ向けた支援 等
安芸津町	風早地区の高潮対策 等

・住民自治協議会等の持続可能な活動の支援（2億5,760万円）

- 拡** 地域づくり推進交付金に住民自治協議会のまちづくり計画の更新等の促進や地域共生社会の推進等に係る新たな支援メニューを創設
市民協働のまちづくり第4期行動計画の策定

・地域活動拠点の充実（5億368万円）

地域活動拠点の整備（地域センター等の整備、集会所の改修等）

・学びのキャンパスの推進（1億3,582万円）

- 拡** 特色ある図書館づくり（(仮)西高屋情報ラウンジ開設準備ワークショップ）
- 新** 学びから実践の好循環につなげるための弱点強化・戦略特化
（黒瀬地区における集合型オンライン講座の展開）
- 新** スポーツ施設の聖地化・特徴化

② 希望ある未来へ挑戦するプロジェクトの展開

（2億6,035万円（前年度3億5,901万円））

・Town & Gown構想の推進（3,159万円）

「次世代学園都市構想」の実現に向けた、広島大学スマートシティ共創コンソーシアムによる（仮称）リビングラボの機能構築や新たな土地利用計画の検討

- 新** 「Town & Gown」のモデルとしているテンピ市・アリゾナ州立大学との連携強化

・大学との連携や学生活躍の推進（5,426万円）

市内大学にTown & Gown Officeを設置し、大学と連携した魅力あるまちづくりを推進

- 拡** エリザベト音楽大学の創立75周年を記念した地域でのコンサートの実施

・中央生涯学習センター跡地活用（1,050万円）

新施設・多目的広場の整備に向けた取組みの推進

・中山間地域における生活価値の創造（631万円）

- 拡** 「生活価値創造のまち」の具現化のため、福富地域において、循環型経済の確立による地域活性化に資する取組みを推進

・第五次東広島市総合計画のDXによる推進と基本理念の浸透

（1億5,769万円）

DXの推進による市民の利便性向上

SDGs推進パートナーとの連携・支援をはじめとした官民共創によるSDGsの推進



(仮)西高屋情報ラウンジ



エリザベト音楽大学による親子コンサート

⑤ 時代を担う子どもを育てる 教育・保育の推進

10億399万円（前年度 9億7,421万円）

新たな時代を担う子どもたちを育成するため、質の高い教育と保育を推進する。

このため、学校支援センターによる支援の強化や未来を担うこどもの育ちサポートを運営するとともに、GIGAスクール構想の浸透による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進を通して、更なる質の高い保育、教育の提供に向けた取組みを進める。

令和5年度当初予算のポイント

- ・ AI技術を用いたデジタルドリルやデジタル採点支援システムによる学習ログ（履歴）を使用し、個々の学習レベルに応じた指導を行うための活用方法を研究する。
- ・ 小規模校で、少人数の良さを生かした学びを充実させるため、特色ある教育活動の実施を支援する。
- ・ 少子化が進む中でも子どもの希望する部活動を継続するため、学校と地域が共に子どもを育てる部活動の地域展開の在り方を研究する。

① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進

（4億7,418万円（前年度4億4,484万円））

・ GIGA スクール構想の浸透（4億4,139万円）

新 個別最適な学びの充実に資する「学習ログ活用」の実証研究

新 グローバルマインドの育成を目的とした海外の学校との遠隔交流

新 遠隔教育をはじめ、児童生徒が協働的な学びを実施するためのラーニングルーム（協働学習ルーム）の整備

拡 外部人材を活用した専門性の高い授業や小規模校同士による遠隔教育の実施

・ 学校支援センターによる支援の強化（3,279万円）

新 ICTを活用した授業づくりに対する支援の充実
スクールサポーターの派遣や若手教員の伴走型支援

② 地域とともにある学校づくり、特色ある教育活動の充実

(5億3万円(前年度5億795万円))

・特色ある教育活動の推進

拡
新
新
拡

コミュニティ・スクールの推進

小規模校における特色ある教育活動の推進(吉川小学校・木谷小学校)

部活動の地域展開の在り方や方法を研究するための実践モデル地域の設置

部活動指導の専門性を活かした部活動指導員の配置

一校一和文化学習等の特色ある学校づくりの支援

③ さらに幼児教育・保育の質の向上(2,978万円(前年度2,142万円))

・保育士の資質・専門性の向上(596万円)

拡

キャリアアップ研修のコース拡充(障害児保育分野)

・保育環境の充実(1,772万円)

子どもの5つの力を育む保育環境づくり

・未来を担うこどもの育ちサポートの推進(610万円)

拡

乳幼児期における教育・保育の質の向上のため、広島大学と連携し、新しい幼児教育・保育モデルを構築



ICTを活用した授業の様子



子どもの5つの力を育む保育環境づくり

⑥ 持続可能な次世代環境都市の構築

2億3,191万円（前年度 1億8,797万円）

地球規模の環境問題に対応できる持続可能な次世代環境都市を構築するため、脱炭素化の推進や豊かな自然環境の保全、循環型社会の構築を図る。

令和5年度当初予算のポイント

- ・ 太陽光発電の活用やエネルギーの面的融通等により、脱炭素化を推進する。
- ・ 市民がともに活用できる森を作るため、企業と森林所有者のマッチングによる企業と地域が連携した森林の適正管理を推進する。
- ・ ごみの減量化に取り組む市民や事業者を増加させるため、大型生ごみ処理機のデモ展示や生ごみ処理機の講習会を開催する。

① 脱炭素化の推進（7,504万円（前年度6,841万円））

・ CO₂排出量の削減に向けた取組み

- 新** 民間事業の電力供給による太陽光発電設備の導入実装
- 新** 福富支所周辺公共施設を対象としたエネルギーの面的融通の実証
- 新** 重点対策加速化事業計画の策定等

② 豊かな自然環境の保全と活用（7,348万円（前年度3,132万円））

・ 森林及び里山の保全

- 拡** 企業等とのパートナーシップによる森林の適正管理
- 新** 福富地域における地域内循環モデルの構築
- 新** 子どもの山に対する関心や意識を醸成するため、「緑の教室」を開催

③ ごみの減量化プロジェクトの推進（8,339万円（前年度8,824万円））

・ 循環型社会の構築

- 新** 大型生ごみ処理機展示・見学イベントの開催
- 新** 生ごみ処理容器利用講習会の開催
- 啓発マンガを活用した資源循環に対する市民意識の向上

(3) 生活関連事業の効果的な推進



159億9,453万円 (前年度 179億8,410万円)

普通建設事業と公共施設(インフラ・建築物)の維持管理については、平成30年7月豪雨災害からの復旧に伴う遅れに対応するため、令和4年度において大幅な取戻しを実施した。

令和5年度は、繰越や不用額の増加も踏まえ、確実に執行可能な事業量をベースとし、市民ニーズを最も把握している部局のマネジメントにより、市民の命・安全を守るための予算を優先的に措置することで、限られた財源をより効率的かつ効果的に配分し、計画的な推進を図ることとした。

※普通建設事業費・維持補修費を集計しており、他のページの金額とは異なる場合がある。

① 市民の命・安全を守るためのインフラの整備、維持補修

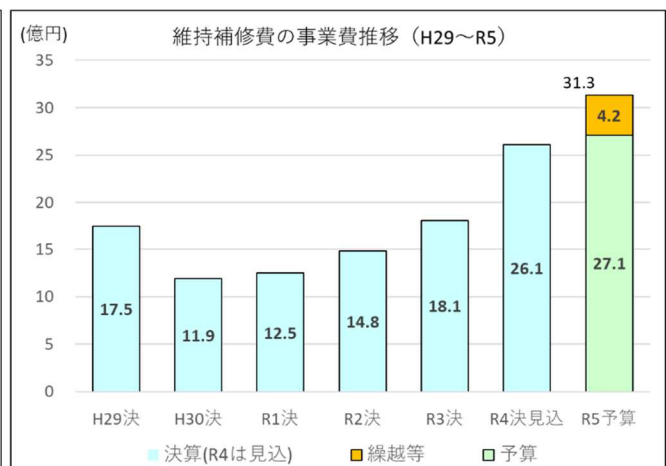
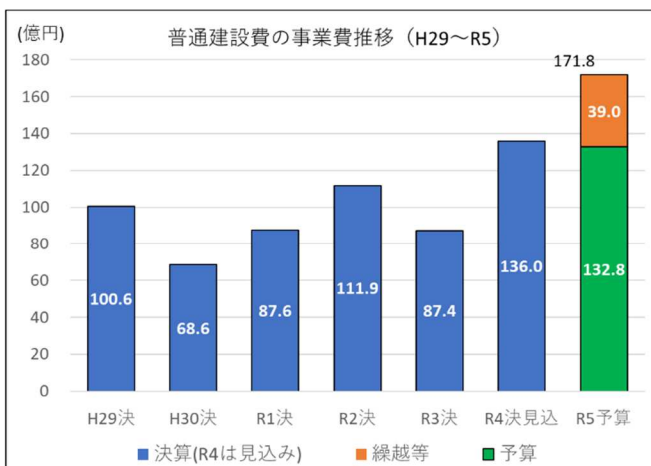
- ・市道(交通安全施設等)、街路、国県道の整備・保全 (40億3,857万円)
- ・防災・減災(流域治水対策等)のための基盤整備 (10億389万円)
- ・消防・救急・救助体制の強化 (5億7,975万円)

② 子育てしやすい環境の整備

- ・学校施設整備及び長寿化計画に基づく大規模改修等 (43億6,234万円)
- ・保育環境(建替え、ユニバーサルデザイン化等)の充実 (7億3,588万円)

③ 地域拠点の活性化のための施設整備

- ・地域活動拠点(地域センター)の整備 (4億5,872万円)
- ・良好な市街地形成(公園、区画整理等)の推進 (15億1,140万円)
- ・公共交通ネットワーク(駅周辺等拠点地域)の強化・充実 (11億8,207万円)
- ・生涯学習施設、スポーツ施設等の適正な管理運営 (1億3,670万円)



(4) 地域別計画の着実な推進



※予算額は、項目に対応する予算を再集計している

東広島市を構成する地域には多くの地域特性があり、従来から独自のまちづくりが展開されてきた。令和2年3月に策定した第五次東広島市総合計画では、改めてその地域特性に注目し、それぞれの地域資源を活かしたまちづくりを進めていくために、市内の9つの地域ごとに目指す方向性を検討し、「地域別計画」として定めた。

この「地域別計画」を基に、地域の方々のご意見を聴きながら、具体的な行動計画である地域別アクションプログラムを令和4年3月に取りまとめた。9つの地域がそれぞれの特性を活かして、活力が湧き出す地域となるよう、地域別アクションプログラムを活用しながらまちづくりを進めていく。



西条地域

新たなテクノロジーによる次代の創造と 学術・研究・国際化を先導するまち

市全体の成長を牽引していくとともに、経済的な豊かさと暮らしやすさにつながる定住環境の充実を両立させ、地域の中だけでなく、対外的にも魅力が伝わるようこれまで備えてきた機能をさらに強化する。また、都市としての拠点性を向上させていく中で、この地域から次々とイノベーションが起こり、内外に幅広く波及していくような、国際学術研究都市の象徴となる地域にする。

地域資源を活かした観光の振興

- ・西条酒蔵通り活性化の支援（100万円）
- ・西条酒蔵通り新規出店者への支援（420万円）

暮らしを支える拠点地区の充実

- ・西条第二地区の整備（7,918万円）

災害に強い地域づくりの推進

- ・内水浸水対策の整備促進
（寺家排水区・西条排水区）（1億9,840万円）



西条酒蔵通り

八本松地域

先端産業と田園風景の調和や都市との近接性を活かした 良好な居住環境が整ったまち

これまでに整備した工業団地、住宅団地の蓄積、広島市等都市部への近接性や、高速道路等の広域的な道路ネットワークからのアクセス性の良さ等を活かすとともに、従来の田園環境と調和したまちづくりを進める。また、引き続き基盤整備に取り組むとともに、魅力ある居住環境の整備や、高度な技術を持つ企業の成長を通じて、新たな雇用を創出していく。

暮らしを支える拠点地区の充実

- ・八本松駅前土地区画整理事業等（12億5,162万円）

災害に強い地域づくりの推進

- ・流域治水対策（深堂川流域）（6,200万円）

市民ニーズの的確な把握と 質の高い行政サービスの提供

- ・地域活動拠点形成モデルの構築（486万円）



八本松駅前土地区画整理事業

志和地域

田園環境との調和やインターチェンジ等のアクセス性・ 職住近接性を活かした仕事とともに新たな交流が生まれるまち

広島市との近接性及び広域的な道路ネットワーク機能を活用し、志和 I C 周辺における産業用地の確保とともに、定住対策や地域内外の交流が促進されるまちづくりを進める。また、地域拠点における生活支援機能の充実、定住人口の増加対策、都市近郊型農業の振興、小中一貫教育の推進や、豊かな自然環境を活かした取組みを進める。

安全で円滑な生活交通の充実

- ・交通空白地の解消に向けた取組み（1,757万円）

高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践

- ・部活動の地域展開実践モデル地域の設置（251万円）
- ・小中一貫教育の推進（246万円）

市民ニーズの的確な把握と 質の高い行政サービスの提供

- ・地域活動拠点形成モデルの構築（486万円）



志和小・中学校

高屋地域

広域交通や様々な教育機関が整う 豊かな田園と良好な居住環境を備えたまち

本市有数の文教地区である拠点地域において、学習環境や交通機能の充実、魅力ある居住環境の整備等により利便性の高い拠点の形成を進めるとともに、若者世代にとって魅力的な雇用を創出するまちづくりを進める。また、田園地域における担い手不足への対応や歴史ある文化的景観の保全による地域の魅力向上等に取り組む。

暮らしを支える拠点地区の充実

- ・高屋西地域センター等複合施設の用地取得、設計及び造成工事（1億8,358万円）

高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践

- ・ラーニングルーム（協働学習ルーム）の整備（1,056万円）

安全で円滑な生活交通の充実・ 交通ネットワークの強化

- ・交通空白地解消に向けた取組み（1,257万円）
- ・西高屋駅の機能強化（10億8,934万円）



西高屋駅

黒瀬地域

交通利便性や地域資源である大学の機能を活かした 健康・福祉と交流のまち

大学等の人材育成機能に加えて、域外からのアクセス性を活かすとともに、従来の田園環境と調和したまちづくりを進める。そのため、地域住民、新規流入世代にとって魅力的な雇用や産業創発力の喚起、魅力ある住環境の整備等、既存の強みを活かした取組みを進める。

安全で円滑な生活交通の充実

- ・丸山榎原線の整備（6,846万円）

交通ネットワークの強化

- ・バス交通結節点の整備（198万円）

健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現

- ・広島国際大学との Town & Gown 構想の推進（441万円）
- ・黒瀬地域「健康・福祉と交流のまち」推進（232万円）



丸山榎原線

福富地域

自然と人が共生する

新たなライフスタイルに出会える交流のまち

地域に残る里山環境を活かすとともに、地域の担い手となる若者世代や自然の中での暮らしを希望する人材にとって魅力的な雇用や産業創発力の喚起、小中一貫教育の推進等に取り組む。

農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化

- ・地域内循環モデルの構築（279万円）
- ・特定地域づくり事業協同組合制度を活用した新たな働き方の創出（1,053万円）
- ・新規就農者の確保（担い手不足対策支援）（180万円）

高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践

- ・ラーニングルーム（協働学習ルーム）の整備（528万円）
- ・小中一貫教育の推進（60万円）

未来を感じるプロジェクト挑戦都市

- ・「生活価値創造のまち」の具現化（600万円）



企業間連携による検討体制

豊栄地域

豊かな自然の中でゆとりある暮らしが楽しめる 体験・交流・定住のまち

民間事業者の活発な活動との連携や豊かな自然環境を活かし、地域の担い手となる若者世代にとって魅力的な働く場の創出に取り組む。また、豊かな自然の中で快適な暮らしを実現するために、新たなテクノロジーの活用等、新たな発想を積極的に取り入れるまちづくりを進める。

農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化

- ・新規就農者の確保（担い手不足対策支援）（180万円）

高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践

- ・豊栄小学校屋根防水改修（1,263万円）

市民ニーズの的確な把握と 質の高い行政サービスの提供

- ・公共施設のあり方の検討や空き家の利活用（200万円）



豊栄小学校

河内地域

豊かな自然と空港や鉄道等の交通利便性を活かした ゆとりと活力のあるまち

将来を見すえて地域の活力向上を目指すため、広島空港、河内ICの活用及び未利用公有地を活用した産業団地の整備、地域拠点における生活支援機能の充実、定住人口の増加対策、付加価値の高い農業の振興、小中一貫教育の推進等に取り組む。

農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化

- ・新規就農者の確保（担い手不足対策支援）（180万円）

高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践

- ・ラーニングルーム（協働学習ルーム）の整備（1,056万円）
- ・小中一貫教育の推進（147万円）

市民ニーズの的確な把握と 質の高い行政サービスの提供

- ・地域拠点の活性化へ向けた支援（210万円）



河内小・中学校

安芸津地域

瀬戸内海に臨む温暖な気候と豊かな自然環境を活かした 共に支え合う共生のまち

情報通信技術の活用により、本市の中心部及び広島市等の都市部への近隣性や高速道路をはじめとした広域的な道路ネットワークへのアクセス性の弱さを補うとともに、魅力ある住環境の整備や地域の担い手となる若者世代にとって魅力的な雇用や産業創発力の喚起等に取り組む。さらに、地球規模での気候変動等災害リスクの増大が懸念される中、災害に強いまちづくり等に取り組む。

豊かな漁業環境づくりの支援

- ・三津湾の貧栄養化対策事業（440万円）

災害に強い地域づくりの推進

- ・流域治水対策（前水除川・宮崎川）（3,230万円）
- ・風早地区の高潮対策（6,803万円）

市民ニーズの的確な把握と 質の高い行政サービスの提供

- ・若者・女性、地域団体、企業のネットワーク構築（200万円）



三津湾

(5) 施策の根幹をなすSDGsの理念とDXの推進

① SDGs 未来都市の実現

62億9,344万円（前年度 60億2,830万円）

第五次東広島市総合計画の将来都市像は、「誰ひとり取り残さない」というSDGsの理念を前提として策定したものであり、本市がSDGs未来都市の実現を目指すことによって、自然と都市環境が共存し、魅力ある仕事にあふれ、心豊かな暮らしが営まれ、市民誰もが誇りを持てるようなまちづくりの進展を目指す。

環境面の取組み（30億9,816万円（前年度25億1,170万円））

・持続可能な循環型社会の構築：温暖化対策、公共交通等

経済面の取組み（17億2,523万円（前年度19億8,822万円））

・イノベーション、経済発展を牽引：大学連携、企業誘致・投資の促進等

社会面の取組み（14億7,005万円（前年度15億2,838万円））

・全ての人が活躍できる環境の整備：学校教育、大学連携、学生の活躍、国際化、DXの推進等

参 考

「SDGs先進度調査」で第52位/709市区に選出

本市は、広島県内の市町で唯一、内閣府の「SDGs未来都市」に選定されており、これまでもSDGsの取組みに力を入れてきたが、この度、日本経済新聞社による「全国市区 第3回SDGs先進度調査」（『日経グローバル』令和5年1月2日号）において、全国709市区中、第52位に選ばれた。

本調査では、大都市優位の傾向が鮮明となっているが、三大都市圏及び全国の政令市・中核市を除いたランキングでは、**本市が1位**となった。

【参考】3側面の取組みで特に評価されている点

環境面：温暖化対策（庁舎等への再生可能エネルギー導入等）、気候変動対策に取り組む組織への加入等

経済面：財政面（実質公債費比率、将来負担比率）、スタートアップ支援（伴走型相談拠点等）等

社会面：SDGs推進関係（ステークホルダーとの連携、SDGsに取り組む事業者の見える化等）、健康増進のための取組み（受動喫煙防止条例等）、外国人市民向け行政サービス（多言語対応、学習支援等）等

② DXの推進

10億5,626万円（前年度 10億8,204万円）

SDGsの理念や第五次東広島市総合計画の将来都市像の実現に向けて、社会課題の解決や経済発展の手段として、IoT、ビッグデータ、人工知能(AI)、ロボット等のデジタルテクノロジーを活用し、制度や政策、組織の在り方等を最適なものへと変革することで、新たな価値の創出や市民の暮らしを豊かにするDXを積極的に推進する。

仕事づくりの取組み（2,456万円（前年度3,051万円））

- ・産業DXの推進、雇用環境の充実、農林水産DXの推進、観光振興等

暮らしづくりの取組み（1億2,513万円（前年度7,202万円））

- ・最適な生活環境の形成と豊かな自然環境の保全、行政サービスの変革等

人づくりの取組み（4億4,991万円（前年度4億1,281万円））

- ・学校教育におけるDX、市全体が学びのキャンパスとなる環境づくり等

活力づくりの取組み（1億8,391万円（前年度2億7,953万円））

- ・学生・大学との交流促進、環境に配慮した社会システムの構築、まると未来都市の推進等

安心づくりの取組み（7,296万円（前年度1億8,858万円））

- ・災害対応力及び消防力の強化、地域共生社会の実現、切れ目のない子育て支援等

共通基盤の取組み（1億9,979万円（前年度9,859万円））

- ・マイナンバーカードの普及促進、基幹業務のシステム標準化等

参 考

マイナンバーカードの普及促進とポータルサイトの運用

【マイナンバーカードの普及促進】

東広島市 : 77.47% (R5.1.31時点の申請率)
全国平均 : 67.7% (R5.1.29時点の申請率)

【市民ポータルサイトの運用】

- ・登録者数：29,165人（R5.1月末時点）
- ・学校等の保護者向けサービス、地域ごとのごみ収集日程通知、各種行政情報の配信を実装
- ・母子健康手帳交付や赤ちゃん訪問日時予約のほか、問診等の申請をWEBで行うことができる子育てサービスを開始（R5.2月）

【事業者ポータルサイトの運用】

事業者、東広島市、商工会議所、各商工会等をデジタルでつなぎ事業活動を支援（R5.3月運用開始予定）

8 第五次東広島市総合計画のまちづくり大綱における主な事業

(単位：億円)

仕事づくり	50.3	(55.2)
○ 産業イノベーションの創出	0.7	
○ 中小企業等の活力強化	11.7	
○ 企業の投資促進	16.5	
○ 農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化	17.1	
○ 地域資源を活かした観光の振興	1.5	
○ 働き方改革の推進による雇用環境の充実	2.8	
暮らしづくり	91.2	(97.4)
○ 暮らしを支える拠点地区の充実	16.8	
○ 安全で円滑な生活交通の充実	41.4	
○ 快適な生活環境の形成	16.3	
○ 豊かな自然環境の保全	0.5	
○ 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	15.8	
○ 多文化共生と国際化の推進	0.4	
人づくり	78.4	(69.8)
○ 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	0.2	
○ 乳幼児期における教育・保育の充実	0.3	
○ 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	62.3	
○ 新たな価値を創造する人材の育成	0.1	
○ 知的資源と国際性を活かした人づくり	0.03	
○ 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	15.5	
活力づくり	19.4	(16.8)
○ 学術研究機能の発揮による都市活力の創出	0.7	
○ 多様な豊かな市民の力が輝くまちづくり	0.5	
○ 都市成長基盤の強化・充実	0.9	
○ 交通ネットワークの強化	14.9	
○ 環境に配慮した社会システムの構築	0.8	
○ 未来を感じるプロジェクト挑戦都市	1.6	
安心づくり	77.3	(99.7)
○ 災害に強い地域づくりの推進	12.2	
○ 安全・安心な市民生活の実現	6.6	
○ 総合的な医療体制の確立	4.5	
○ 健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現	7.1	
○ 誰もが生き生きと暮らせる地域共生社会の実現	15.0	
○ 安心して子どもを産み育てられる環境づくり	31.9	

※特別会計を含み、下水道事業会計を除く

316.6 (338.9)

※ () 内は前年度予算額

伸び率 -6.6%

※前年度予算額は、令和5年度事業に対比する予算額を再集計している

※安心づくりの予算額が大幅に減少しているが、消防署や治水の大規模事業が完了したことによるものであり、子育てなど主要事業の予算額は増加している。

※第五次東広島市総合計画のまちづくり大綱における主な事業の記載事項

1 5の大綱、30の施策、60の目的別事業群ごとに整理しています。

2 予算額は目的別事業群ごとの金額を記載しています。

一般会計以外は、金額の左に会計名を記載しています。

3 事業名欄に付している記号について

新	⇒令和5年度新規の取組み
---	--------------

拡	⇒令和5年度拡充の取組み
---	--------------

「○」⇒目的別事業群内の取組みで重点的に実施するもの

1 【仕事づくり】 知的資源と産業力で多様な仕事生まれるまち

(単位：千円)

事業名	予算額	主な事業内容	担当部局
1 産業イノベーションの創出			
① イノベーション創出環境の充実 新 ○大学発ベンチャーと市内事業者とのネットワーク構築 ○東広島イノベーションラボ ミライノ+の活用	69,421	多様な人や団体が幅広く活動し、交流することで、起業や社会の課題解決等を志向する場を創出します。また、大学発ベンチャー支援を軸とした、大学と市内事業者との新たな関係の構築を図ります。	産業部
2 中小企業等の活力強化			
① 中小企業等の活力強化 ○Hi-Bizによるハズオン支援 ○新型コロナや物価高騰などの影響を受ける事業者への支援 拡 ○産業支援連携チームの運営	1,169,459	Hi-Bizによる経営相談や、新型コロナウイルス感染症、物価高騰等の影響を受ける事業者への支援を継続するとともに、産業支援連携チームを通じて、市内事業者との連携強化を図ります。	産業部
3 企業の投資促進			
① 企業誘致・留置と投資促進 ○企業活動拠点整備への支援 拡 ○企業立地促進助成（工場等設置助成金・雇用助成金） ○産業集積促進助成	1,603,643	各種助成金の活用により、民間事業者の活動拠点整備や工場等の設備投資を促進することで、企業誘致・留置を図り、産業構造の複層化や技術の高度化を支援します。	産業部
② 設備投資・最新技術導入の促進 ○生産効率の向上及び投資促進に関する取組み ○企業活動の活性化を支援する取組み	50,699	先端設備導入計画の認定や助成金の活用により、市内企業の生産性向上に資する投資を支援するとともに、半導体フォーラムの開催等により、企業活動の活性化を図ります。	産業部
4 農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化			
① 地域社会の持続のための農林水産業の推進 新 ○集落法人の経営改善支援 拡 ○農地保全・維持管理の省力化の推進 新 ○森林資源を活用した地域内循環モデルの構築	1,369,303	集落営農法人の経営安定に向け、経営改善支援に取り組むほか、農地保全・維持管理の省力化を推進します。また、未来につながる森づくりを目指し、地域内循環による持続可能な森林管理を推進します。	産業部 建設部
② 農林水産業の高収益化の推進 拡 ○学校給食への地場産野菜供給拡大に向けたシステム構築 新 ○意欲的な農業者による新たなチャレンジへの支援 新 ○民間事業者の知見を活用した製品の創出	338,763	地場産野菜の給食への供給拡大を図るとともに、農業所得の向上等に意欲的に取り組む農業者を支援します。また、民間企業と連携し、食を通じた事業の展開により、市内産品の販路及び消費拡大を図ります。	産業部
5 地域資源を活かした観光の振興			
① 日本酒のまちの魅力向上 ○東広島市立日本酒大学の開催 新 ○日本酒の海外販路拡大の推進	10,454	日本酒について歴史、文化を含めた様々な視点から学ぶ場を提供します。また、日本酒の海外販路拡大に取り組むことにより、日本酒のまちとしての認知度向上を図ります。	産業部
② 観光コンテンツ開発及び地域産業づくり ○観光推進組織による戦略的な観光振興 ○観光イベントやにぎわい創出の支援 拡 ○サミットを契機としたプロモーション	135,349	ディスカバー東広島や観光協会、広島県観光連盟等と連携し、魅力ある観光コンテンツを創出します。また、アフターサミットを見据え、インバウンドを含めた効果的なプロモーションを展開します。	産業部

(単位：千円)

6 働き方改革の推進による雇用環境の充実		
① 働き方改革の推進 ○ワークライフバランス講座の普及促進 ○働く女性の相談室の実施 1,176	働く人と企業のそれぞれの視点から分かりやすく学ぶオンライン講座等を実施し、ワークライフバランスの推進を図ります。また、働く女性や働こうとする女性を応援するセミナー等を実施します。	生活環境部
② 多様な人材の活躍促進 ○学生等の市内企業への就職促進 ○勤労者福祉の推進 279,677	企業の魅力発信や採用力向上につながる取組み等により、市内企業の認知度を高めるとともに、女性や障害者等、多様な人材の市内企業への就職を促進します。	産業部 生活環境部 健康福祉部

2 【暮らしづくり】 自然と利便性が共存する魅力的な暮らしのあるまち

(単位：千円)

事業名	予算額	主な事業内容	担当部局
1 暮らしを支える拠点地区の充実			
① 良好な市街地形成の推進 ○八本松駅前土地区画整理等の推進 ○西条第二地区の整備 ○公園の整備 八本松駅前土地区画整理事業特別会計	737,863 808,720	八本松駅周辺における幹線道路・生活道路・住環境の一体的な整備や、西条第二地区における地区計画道路の整備により、良好な都市環境の形成を図ります。また、安全・安心な憩いの場となる公園整備を行い、良好な市街地の形成を図ります。	都市部
② 住環境の整備・保全 拡 ○空き家対策の推進 拡 ○住宅の安全性などの質の向上の推進 ○市営住宅ストックの適切な管理	130,867	空き家の利活用等やがけ地に近接する危険住宅の移転費用を支援することにより、安全・安心な住環境の実現を促進します。また、市営住宅の施設整備を推進します。	都市部
2 安全で円滑な生活交通の充実			
① 生活交通ネットワークの充実 拡 ○地域が主体となった公共交通導入への支援（志和・小谷） ○地域が主体となった運行への支援（黒瀬・入野） ○コミュニティバスの運行	105,076	市民の移動利便性向上のため、地域のコミュニティバス等の運行支援や地域主体による公共交通導入に向けた伴走支援を行い、「地域で守り、支える」モビリティマネジメントの推進・強化を図ります。	地域振興部
② 市道、街路、国道道の整備・保全 ○橋梁等道路施設の長寿命化 ○都市計画道路の整備促進 ○道路等の維持修繕の実施	4,038,569	地域の実情に合わせた道路交通網の構築や道路構造物の定期的な点検に基づく予防保全により、交通の利便性及び安全性の向上を図ります。	建設部 都市部
3 快適な生活環境の形成			
① 循環型社会の構築 ○生ごみのたい肥化の促進 ○ごみ減量化の促進 ○ごみの適正収集・処理	1,494,478	循環型社会の構築を目指して、ごみの減量化・資源化のため、生ごみの減量化・たい肥化に取り組む等、3R活動を推進します。また、ごみの適正な分別を促し、適正収集・適正処理を行います。	生活環境部
② 水の安定供給 ○豊栄中央住宅団地専用水道施設の管理運営 ○河内町大仙地区飲料水供給施設の管理運営	16,541	専用水道施設、飲料水供給施設の適正な維持管理を行い、安全で良質な水を安定的に供給します。	生活環境部
③ 公共用水域の水質保全 ○下水道事業の推進 拡 ○浄化槽設置整備の促進 特定地域生活排水処理事業特別会計 下水道事業会計	106,433 10,803 11,989,299	下水道未普及地域の汚水管渠整備、東広島浄化センターの改造による下水道事業の推進及び補助制度の拡充による合併浄化槽の普及促進により、公共用水域の水質保全を図ります。	下水道部 生活環境部
4 豊かな自然環境の保全			
① 豊かな自然環境の保全 ○環境汚染の未然防止 ○犬・猫の適正な飼養の促進	45,328	豊かな自然環境を保全し、市民の健康で快適な暮らしを維持するため、環境の調査・監視、環境保全の啓発を行います。また、犬・猫の適正な飼養を促進します。	生活環境部

(単位：千円)

5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上		
① 市民協働のまちづくりによる地域力の向上 拡 ○住民自治協議会等の持続可能な活動の支援 ○活動拠点の充実 1,578,689	住民自治協議会や市民活動団体等による地域の課題解決等に向けた活動を支援します。また、地域の活動拠点の整備・充実を進めるとともに、長寿命化を図ります。	地域振興部
6 多文化共生と国際化の推進		
① 言語・文化等の違いによらない円滑な暮らしの実現 ○相談体制の充実 拡 ○コミュニケーション支援 ○外国人市民の地域活動への参加促進 32,548	外国人市民が個性と能力を発揮し、安心して快適に暮らせるよう、様々な形態の日本語教室の開催や情報発信を行います。また、地域と連携し、外国人市民の地域活動への参加を促進します。	生活環境部
② 国際交流と相互理解の促進 ○交流機会の創出と活動の支援 ○意識啓発、異文化理解の促進 9,370	外国人と日本人が相互理解のもと、ともに市民として暮らすことができるよう、誰もが参加しやすい交流機会を創出するとともに、「やさしい日本語」の普及等、異文化理解を促進します。	生活環境部

3 【人づくり】 誰もが夢を持って成長し活躍できるまち

(単位：千円)

事業名	予算額	主な事業内容	担当部局
1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進			
① 人権啓発の推進 ○人権意識高揚に係る啓発の推進 新 ○パートナーシップ宣誓制度の導入 新 ○犯罪被害者等への支援	6,574	人権問題に対する正しい理解と認識を深めるため、各種啓発活動を実施します。また、新たに、性的マイノリティの人々や犯罪被害者等への人権課題に取り組みます。	生活環境部
② 男女共同参画の推進 ○男女共同参画理解促進に係る啓発の推進 ○第3次東広島市男女共同参画推進計画（後期実施計画）策定業務	9,755	男女共同参画に関する理解の促進と意識の啓発を図るため、各種啓発活動を行います。また、男女共同参画推進計画の後期実施計画の策定に着手します。	生活環境部
③ 平和を希求する人材の育成 ○平和学習の場の提供 ○平和に関する資料の保存	1,651	戦争体験や被爆証言を次世代へ継承し、戦争と核兵器の悲惨さについて学ぶ機会を確保するとともに、全国の自治体や平和首長会議等の平和活動団体と連携し、平和・非核兵器に関する情報を広く発信します。	総務部
2 乳幼児期における教育・保育の充実			
① 幼児教育・保育の充実 拡 ○キャリアアップ研修の充実 拡 ○未来を担うこどもの育ちサポート ○魅力ある保育環境づくりの充実	32,547	乳幼児期からの教育・保育の質を高めるため、広島大学と連携して、保育施設等を訪問し、教育・保育内容の助言を行うとともに、教育・保育環境の改善や研修のさらなる充実を図ります。	こども未来部 学校教育部
3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践			
① 学校運営の支援と教育内容の充実 拡 ○ICTの活用による学びの充実 拡 ○学校支援センターによる支援 拡 ○小・中学校の施設整備等	5,520,481	ICTを効果的に活用し、遠隔教育の実施等学びの充実に資する学習機会を創出するとともに、学校支援センターによる支援を促進します。また、小中学校の長寿命化改良工事等を行います。	学校教育部
② 特別なニーズに対応した教育の充実 ○特別支援教育の推進 拡 ○小・中学校教育支援者の配置 拡 ○外国につながる児童生徒への教育の推進	621,341	学校教育支援員や教育補助員等を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実を図るとともに、外国につながる児童生徒へのきめ細かな教育を推進します。	学校教育部
③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり 拡 ○生徒指導の推進 新 ○青少年の地域活動・交流の推進 ○地域学校協働活動の推進	85,076	校内特別支援教室やスクールソーシャルワーカーを拡充し、不登校等の解決に取り組みます。また、地域学校協働活動推進員の配置や青少年の地域活動への参画により、地域と学校の協働を推進します。	学校教育部 生涯学習部
4 新たな価値を創造する人材の育成			
① 理科系教育分野等の教育内容の充実 ○児童生徒の科学の芽の育成	6,346	大学や企業等の協力を得て、科学技術等に関する体験的な学習を通じて興味や関心を醸成することで、理数系の学習が好きな児童生徒の裾野の拡大に取り組みます。	学校教育部
② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実 ○文化芸術体験の振興 新 ○理系・イノベーション講座の実施	4,584	美術館やどこでも博物館等の体験を通じて、文化芸術に直接触れる機会を提供するとともに、理系分野への興味・関心や探求心を育めるよう、大学の知見を活用した講座を実施し、学びの充実に努めます。	生涯学習部

(単位：千円)

5 知的資源と国際性を活かした人づくり		
① 大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成 ○未来創造及びキャリアの形成 ○大学や試験研究機関と連携した学びの充実 2,814	大学等と連携し、市民の豊かな学びにつながる講座を実施します。また、留学生等と連携し、児童のグローバルマインドの涵養を図るとともに、職場体験を通じて生徒が主体的に進路を選択する力を育てます。	学校教育部 生活環境部 生涯学習部
6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり		
① 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備 新 ○集合型オンライン講座の実施 ○特色ある図書館づくり 630,521	地域の特徴に応じた学びを推進するため、黒瀬地区においてオンラインと対面で学ぶハイブリッド型の講座を実施します。また、学生を対象としたワークショップを開催し、図書館の特色化を図ります。	生涯学習部
② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承 拡 ○学芸業務の充実 新 ○登録有形文化財等の活用 新 ○国重要文化財の展示 632,666	長期的・継続的な美術館運営を推進していくため、専門的な学芸業務を委託します。また、郷土愛の醸成のため、文化財を活用したイベントや重要文化財の展示、東広島市史の編さんを進めます。	生涯学習部
③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成 拡 ○地域でのスポーツ活動の普及推進 新 ○スポーツ施設の聖地化・特徴化の推進 286,831	ウォーキング等により地域でのスポーツ活動の裾野を広げ、トップアスリートによる教室等でスポーツの魅力づくりに取り組みます。また、施設の聖地化・特徴化に向け、競技種目毎の施設の充実を図ります。	生涯学習部

4 【活力づくり】 学術研究機能や多様な人材の交流から新たな活力が湧き出すまち

(単位：千円)

事業名	予算額	主な事業内容	担当部局
1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出			
① 大学等の知的資源を活かしたイノベーションの創出環境の充実 ○次世代学園都市構想に基づく事業展開 新 ○国際学術研究都市としての総合的な魅力づくりに向けた連携強化	31,593	次世代学園都市構想に基づく地域との情報共有の場の構築や広島大学周辺の新たな土地利用計画を検討します。また、Town & Gown構想のモデルとしたテンピ市やアリゾナ州立大学との連携を強化します。	総務部(経営)
② 大学との連携によるまちづくりの推進 拡 ○大学との連携体制の構築	36,155	市と大学が一体となった魅力あるまちづくりを進めるため、Town&Gownの市内大学への展開や事務局の運営、各大学の特色を活かした連携事業の充実を図ります。	総務部(経営)
2 多様な市民の力が輝くまちづくり			
① 多様な人材力が発揮できる環境の充実 拡 ○学生の地域活動の促進	18,100	学生や留学生等が活躍できる環境の充実を図るため、関係機関と連携し、地域活動及び体験・交流機会の創出や主体的な活動への支援、学生の活動拠点の整備、コーディネート機能の充実を図ります。	総務部(経営)
② 移住・定住の促進とにぎわいや交流の創出 拡 ○移住・定住の促進に向けた情報発信と支援 ○港湾沿岸地域の再編	33,288	移住促進特設Webサイトにより移住関連情報を発信するとともに、各種支援制度の拡充により移住を促進します。また、にぎわいや交流の創出に向け、港湾周辺の拠点機能の向上を図ります。	地域振興部 建設部
3 都市成長基盤の強化・充実			
① にぎわいと魅力ある都市空間の形成 ○景観を活かしたまちづくりの推進 ○中央生涯学習センター跡地等の活用	38,991	酒蔵地区の街並みと調和した景観保全のため、西条本通線の美装化を進めます。また、中央生涯学習センター跡地等公有地の活用に向け、新施設等の整備に関する調査・検討に取り組みます。	都市部 総務部(経営)
② 新たな産業基盤の整備 ○産業基盤の整備に向けた検討 拡 ○産業用地開発助成 新 ○半導体関連産業の振興	48,502	新たな産業用地の確保に向けた検討を行うとともに、助成金の活用により、民間企業の産業用地開発を促進します。また、半導体産業における人材育成等のため、産学官連携を推進します。	産業部
4 交通ネットワークの強化			
① 公共交通ネットワークの強化・充実 拡 ○東広島市総合交通戦略・東広島市地域公共交通計画の改訂 新 ○バス交通結節点の整備（志和地区） ○西高屋駅の結節点機能強化と拠点施設整備	1,423,567	市民や来訪者の広域移動を見据えた交通機能の強化を図るため、バス交通結節点を整備するとともに、西高屋駅の南北自由通路や駅前広場、情報ラウンジ棟を整備します。	地域振興部 都市部
② 高規格幹線道路及び幹線道路交通網の整備 ○国・県幹線道路の整備	70,087	慢性的な交通渋滞を解消し、産業活動や広域連携強化のため、各道路整備期成同盟会の活動費や、国・県道路整備費の一部を負担することにより、幹線道路交通網の整備を促進します。	都市部

(単位：千円)

5 環境に配慮した社会システムの構築		
① 環境に配慮した社会システムの構築 ○庁舎等の脱炭素化の推進	75,041	脱炭素社会の実現に向け、域内で実装可能な取組みや将来を見据えた取組みの実証を進めます。また、市民、事業者の省エネ・創エネ設備導入を促進するとともに、啓発等を推進します。
新 ○エネルギーの面的融通等の実証		
新 ○脱炭素化に向けた取組みの実装		
6 未来を感じるプロジェクト挑戦都市		
① 「まるごと未来都市」の形成に向けた取組みの展開 ○市民及び事業者ポータルサイトの運用	163,999	市民及び事業者ポータルサイトの活用を進めるとともに、循環型経済の確立による地域活性化に資する取組みや、SDGsの取組みを推進し、最先端技術を活用した持続可能な都市の実現を目指します。
拡 ○福富地域における「生活価値創造のまち」の具現化		
○「SDGs」の推進		

5 【安心づくり】 自助・互助・共助・公助によって安心した生活を送れるまち

(単位：千円)

事業名	予算額	主な事業内容	担当部局
1 災害に強い地域づくりの推進			
① 災害対応力の強化 新 ○避難所遠隔開設システムの導入 ○災害対応能力向上に向けた人材育成 新 ○要支援者に対する避難支援対策強化	152,218	災害対応力を強化するため、避難所の即時開設を可能とする遠隔開設システムを導入します。また、避難行動要支援者の避難を支援するため、福祉避難所の増設及び個別避難計画の策定体制を強化します。	総務部 健康福祉部
② 地域防災力の強化 ○出前講座等による防災意識の啓発 新 ○消防団員アプリの導入 ○自主防災活動の促進	60,729	地域防災力を強化するため、出前講座等による自助・共助の啓発のほか、自主防災組織の活動を支援します。また、消防団の情報伝達を強化するため、消防団員アプリを導入します。	総務部 消防局
③ 防災・減災のための基盤整備 ○治水対策の推進 ○河川における浚渫等の維持修繕 ○急傾斜地等の整備等 下水道事業会計	1,003,894 949,596	浸水被害を軽減するため、ソフト対策と連携し、雨水貯留施設や雨水幹線を整備するとともに、河川浚渫等の流域治水対策に取り組みます。また、市民の生命や財産を守るため、急傾斜地等の整備を推進します。	建設部 都市部 下水道部
2 安全・安心な市民生活の実現			
① 安全・安心な市民生活の実現に向けた環境づくり ○交通安全の推進 ○犯罪被害を未然に防ぐための環境づくり	34,644	安全・安心な市民生活の実現に向け、交通安全指導、啓発活動や交通危険箇所での事故防止対策を検討するとともに、防犯灯や防犯カメラの設置を推進し、犯罪被害にあいにくい環境を整えます。	総務部
② 消防・救急・救助体制の強化 ○消防庁舎等の整備 ○消防水利の整備 ○常備消防車両等の整備	591,273	消防需要の増加への対応、現場への到着時間の短縮及び市全体の消防力の向上を図るため、署所の長寿命化等、消防水利を整備するとともに、常備消防車両等を更新します。	消防局
③ 火災予防・応急手当の普及・啓発 ○火災予防啓発の推進 ○救急普及啓発の推進 新 ○映像通報システムの導入	30,777	火災件数を減少させるため、火災予防啓発を実施し、火災予防に対する意識の醸成を図ります。また、救急現場での応急手当の実施率向上のため、応急手当講習の実施及び映像通報システムを導入します。	消防局
3 総合的な医療体制の確立			
① 持続可能な救急医療体制の整備 ○休日診療所の運営 ○病院群輪番制の運営 新 ○医師の確保支援	199,685	休日・夜間等における初期救急医療体制の維持と二次救急医療体制の整備として新たな医師確保支援を行うことにより、持続可能な救急医療体制の整備を促進します。	健康福祉部
② 高度専門医療の機能充実 ○寄附講座の設置による医師の確保 ○東広島医療センターに対する支援	77,321	広島大学に寄附講座を設置し、東広島医療センターにおける医療の高度化、医師の確保及び人材の育成を図ります。また、小児救急医療の支援や初期臨床研修奨励金制度により医療体制の充実を図ります。	健康福祉部
③ 災害時、感染症まん延時の対応 ○高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌予防接種の実施 ○風しんの抗体検査及び予防接種の実施 ○新型コロナウイルス感染症等の予防対策	175,574	予防接種の助成等を行い、各種感染症の感染防止や重症化予防を図ります。また、新型コロナウイルス感染症対策として、衛生資材等を確保し、緊急時に備えます。	健康福祉部

(単位：千円)

4 健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現		
① 健康維持の推進		食育や自殺対策等を踏まえた健康増進計画を策定します。また、広島国際大学と連携してTown&Gownの取組みを推進するとともに、民間企業等とも連携し、市民の健康増進を図ります。
新	○第3次東広島市健康増進計画の策定	健康福祉部
新	○広島国際大学とのTown&Gown事業の準備	
新	○官民連携による運動習慣づくり 493,303 国民健康保険特別会計 158,014	
② 介護予防の推進		フレイル予防の5本柱（社会参加・運動・栄養・口腔・睡眠）の周知のほか、医療専門職による個別支援や通いの場等への積極的関与によりフレイル状態の早期改善を促し、要介護状態の予防を図ります。
	○高齢者のフレイル予防の推進 ○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施による支援の充実 56,303	健康福祉部
5 誰もが生き生きと暮らせる地域共生社会の実現		
① 地域包括ケアシステムの深化・推進		高齢者等が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、地域包括支援センターの総合相談機能強化を図るとともに、尊厳ある生活継続に向け、権利擁護支援の強化のための仕組みを構築します。また、介護人材の育成・確保の充実を図ります。
	○地域包括支援センターの機能強化	健康福祉部
新	○高齢者等の権利擁護支援	
	○介護人材の育成・確保の推進 590,680 介護保険特別会計 387,833	
② 障害者の自立支援		障害理解の促進を図り、障害者が地域で安心して生活できるよう相談支援や福祉助成券の交付等の福祉サービスを行います。また、ペアレントメンターによる相談支援など発達障害者の家族支援を推進します。
	○障害者の理解促進と社会参加の支援 ○障害者就労に関わる支援 ○障害者の地域生活支援 356,448	健康福祉部
③ 地域での支え合いの促進と総合的な相談支援体制の構築		ヤングケアラーやひきこもり、ごみ屋敷等の複合的な課題を持つ世帯への支援を強化します。また、身近な地域で人と人のつながりを広げるために、自治会等が行うイベント等を支援します。
新	○複合的な課題を抱える世帯への支援	健康福祉部
新	○住民主体のつながりの促進	
	○市民に身近な地域活動の支援 167,175	
6 安心して子どもを産み育てられる環境づくり		
① 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の構築		安心して子育てができるよう、妊娠期・子育て期の経済的支援と伴走型相談支援とを一体的に行うとともに、健診事後親子教室を大学と連携して開催します。また、乳幼児等医療費の支給対象を拡大します。
新	○妊娠期からの伴走型相談支援	こども未来部 生涯学習部
拡	○健診事後親子教室の開催	
拡	○乳幼児等医療費の支給対象の拡大 1,436,298	
② 保育環境の充実		保育人材を確保するための給付金を支給するとともに、私立保育所等の施設整備を支援します。また、公立放課後児童クラブの施設整備及び民間放課後児童クラブの運営を支援します。
拡	○職務奨励費及び保育士定着応援給付金の支給	こども未来部 生涯学習部
新	○私立保育所等の施設整備	
	○放課後児童クラブの充実 1,759,350	

資 料 編

1 会計別予算の規模

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度 予 算 額	令和4年度 予 算 額	令和3年度 予 算 額	令和4年度比		
				増減額	増減率	
一 般 会 計	94,440,000	95,180,000	88,920,000	△740,000	△0.8	
特 別 会 計	ひがしひろしま墓園 管 理 事 業	10,900	10,884	10,860	16	0.1
	特 定 地 域 生 活 排 水 処 理 事 業	12,678	13,596	12,678	△918	△6.8
	八 本 松 駅 前 土 地 区 画 整 理 事 業	839,526	1,377,335	594,595	△537,809	△39.0
	国 民 健 康 保 険	15,913,957	15,051,858	15,097,260	862,099	5.7
	後 期 高 齢 者 医 療	2,534,182	2,351,692	2,247,128	182,490	7.8
	介 護 保 険	13,249,102	13,171,514	13,783,010	77,588	0.6
	(保険事業勘定)	13,249,102	13,160,533	13,740,759	88,569	0.7
	(介護サービス 事業勘定)	—	10,981	42,251	△10,981	皆減
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	—	—	1,170	—	—
	計	32,560,345	31,976,879	31,746,701	583,466	1.8
合 計	127,000,345	127,156,879	120,666,701	△156,534	△0.1	

(注) 下水道事業会計及び財産区(管理会)特別会計を除く。

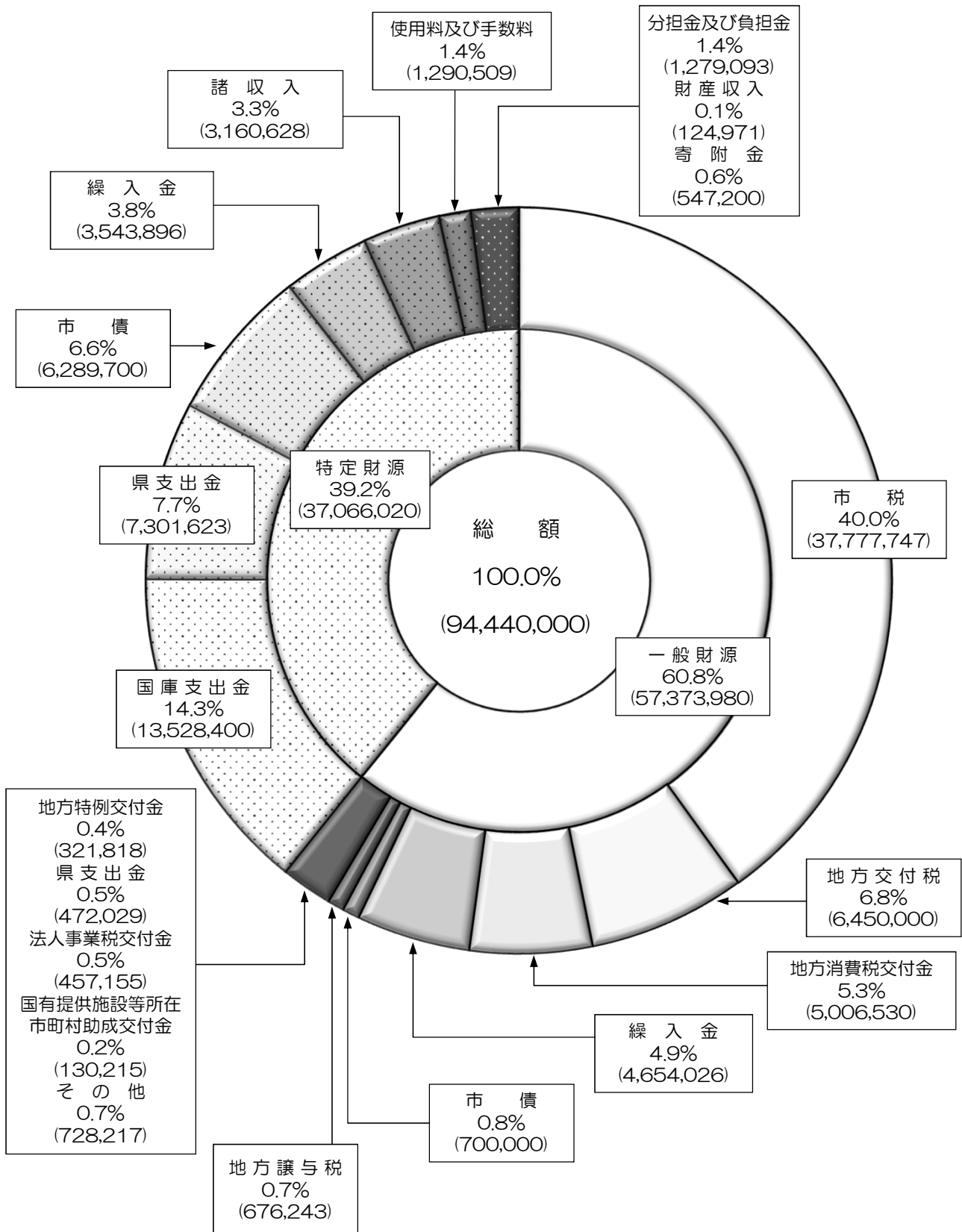
2 一般会計歳入の款別内訳

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度 予 算 額	令和4年度 予 算 額	令和3年度 予 算 額	令和4年度比	
				増減額	増減率
市 税	37,777,747	37,032,095	34,518,326	745,652	2.0
地 方 譲 与 税	676,243	671,381	660,836	4,862	0.7
利 子 割 交 付 金	13,966	31,449	28,000	△17,483	△55.6
配 当 割 交 付 金	203,259	124,734	121,000	78,525	63.0
株式等譲渡所得割交付金	124,796	169,294	116,000	△44,498	△26.3
法 人 事 業 税 交 付 金	457,155	400,914	292,000	56,241	14.0
地 方 消 費 税 交 付 金	5,006,530	4,453,012	4,190,000	553,518	12.4
ゴルフ場利用税交付金	116,715	108,491	109,000	8,224	7.6
環 境 性 能 割 交 付 金	92,571	101,147	93,000	△8,576	△8.5
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	130,215	126,886	129,000	3,329	2.6
地 方 特 例 交 付 金	321,818	267,765	622,000	54,053	20.2
地 方 交 付 税	6,450,000	7,050,000	4,900,000	△600,000	△8.5
(普 通 交 付 税)	(4,800,000)	(5,500,000)	(3,550,000)	(△700,000)	(△12.7)
(特 別 交 付 税)	(1,650,000)	(1,550,000)	(1,350,000)	(100,000)	(6.5)
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	23,156	23,674	24,400	△518	△2.2
分 担 金 及 び 負 担 金	1,279,093	1,280,624	1,140,597	△1,531	△0.1
使 用 料 及 び 手 数 料	1,305,582	1,372,650	1,380,263	△67,068	△4.9
国 庫 支 出 金	13,528,400	14,597,758	13,379,233	△1,069,358	△7.3
県 支 出 金	7,773,652	7,410,952	7,732,302	362,700	4.9
財 産 収 入	222,343	221,130	212,750	1,213	0.5
寄 附 金	547,200	308,800	132,000	238,400	77.2
繰 入 金	8,197,922	6,975,139	5,884,239	1,222,783	17.5
繰 越 金	1	1	1	0	0.0
諸 収 入	3,201,936	3,174,204	2,902,353	27,732	0.9
市 債	6,989,700	9,277,900	10,352,700	△2,288,200	△24.7
(臨時財政対策債除く)	(6,289,700)	(8,277,900)	(6,502,700)	(△1,988,200)	(△24.0)
合 計	94,440,000	95,180,000	88,920,000	△740,000	△0.8

歳入予算款別構成図

(単位：千円)



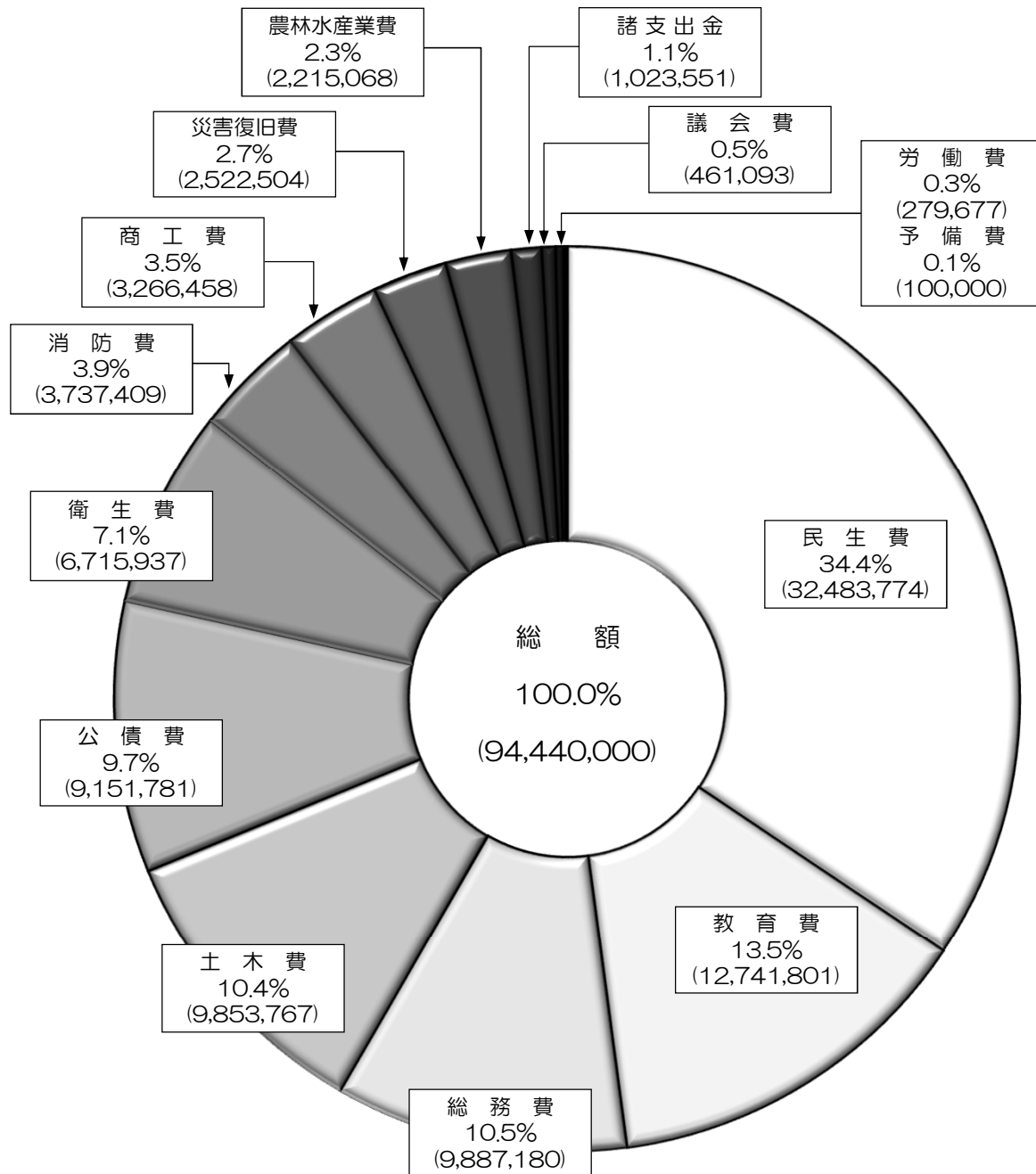
3 一般会計歳出の款別内訳

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度 予 算 額	令和4年度 予 算 額	令和3年度 予 算 額	令和4年度比	
				増減額	増減率
議 会 費	461,093	452,411	451,241	8,682	1.9
総 務 費	9,887,180	9,386,822	9,801,114	500,358	5.3
民 生 費	32,483,774	32,364,515	29,142,867	119,259	0.4
衛 生 費	6,715,937	6,288,182	7,082,445	427,755	6.8
労 働 費	279,677	271,607	312,678	8,070	3.0
農 林 水 産 業 費	2,215,068	2,484,125	2,206,916	△269,057	△10.8
商 工 費	3,266,458	3,689,462	3,557,786	△423,004	△11.5
土 木 費	9,853,767	11,412,743	8,940,322	△1,558,976	△13.7
消 防 費	3,737,409	4,150,988	3,658,032	△413,579	△10.0
教 育 費	12,741,801	11,797,772	10,818,114	944,029	8.0
災 害 復 旧 費	2,522,504	2,719,964	2,822,086	△197,460	△7.3
公 債 費	9,151,781	9,246,292	9,179,396	△94,511	△1.0
諸 支 出 金	1,023,551	715,117	747,003	308,434	43.1
予 備 費	100,000	200,000	200,000	△100,000	△50.0
合 計	94,440,000	95,180,000	88,920,000	△740,000	△0.8

歳出予算款別構成図

(単位：千円)



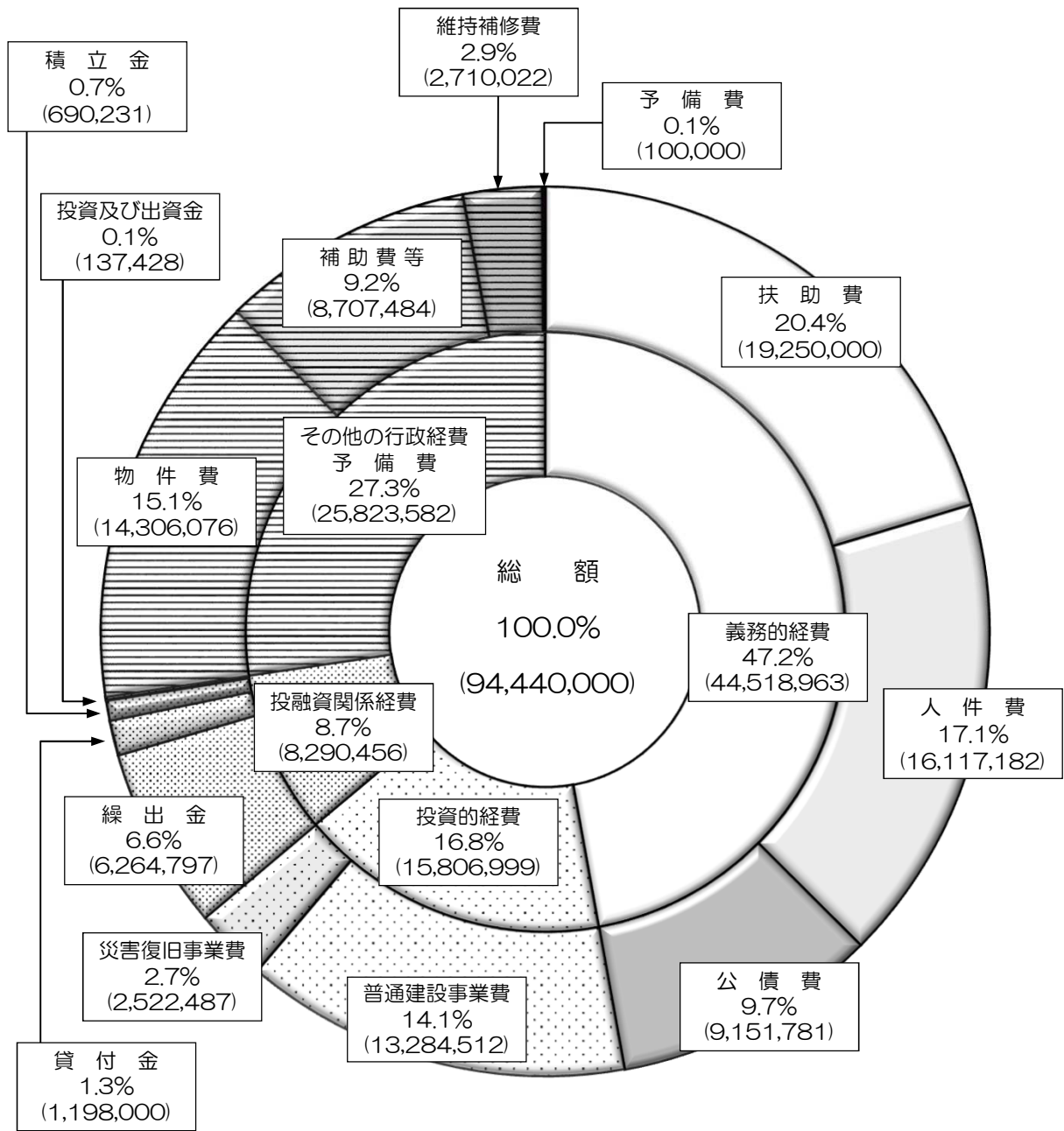
4 一般会計歳出の性質別内訳

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度 予 算 額	令和4年度 予 算 額	令和3年度 予 算 額	令和4年度比	
				増減額	増減率
人 件 費	16,117,182	15,445,949	15,367,287	671,233	4.3
扶 助 費	19,250,000	18,495,787	17,747,450	754,213	4.1
公 債 費	9,151,781	9,246,292	9,179,396	△94,511	△1.0
義務的経費計	44,518,963	43,188,028	42,294,133	1,330,935	3.1
普通建設事業費	13,284,512	15,074,285	11,546,021	△1,789,773	△11.9
災害復旧事業費	2,522,487	2,800,921	2,892,176	△278,434	△9.9
投資的経費計	15,806,999	17,875,206	14,438,197	△2,068,207	△11.6
積 立 金	690,231	392,935	315,838	297,296	75.7
投資及び出資金	137,428	199,447	99,350	△62,019	△31.1
貸 付 金	1,198,000	1,198,000	1,198,000	0	0.0
特定地域 生活排水	3,833	4,818	3,763	△985	△20.4
八本松駅前 土地区画整理	527,232	714,065	139,546	△186,833	△26.2
国民健康保険	1,196,965	1,357,561	1,351,346	△160,596	△11.8
後期高齢者医療	474,398	447,617	432,758	26,781	6.0
後期高齢者医療 広域連合負担金	2,038,658	1,887,156	1,846,680	151,502	8.0
介護保険	2,023,711	2,033,506	2,272,904	△9,795	△0.5
繰出金計	6,264,797	6,444,723	6,046,997	△179,926	△2.8
投融资関係経費計	8,290,456	8,235,105	7,660,185	55,351	0.7
物 件 費	14,306,076	14,454,919	14,086,193	△148,843	△1.0
維持補修費	2,710,022	2,909,814	1,809,900	△199,792	△6.9
補助費等	8,707,484	8,316,928	8,431,392	390,556	4.7
その他の行政経費計	25,723,582	25,681,661	24,327,485	41,921	0.2
予 備 費	100,000	200,000	200,000	△100,000	△50.0
合 計	94,440,000	95,180,000	88,920,000	△740,000	△0.8

歳出予算性質別構成図

(単位：千円)



令和5年度東広島市下水道事業会計予算（案）の概要

1 予算（案）の特徴

（単位：千円）

①下水道経営の健全化

下水道サービスを継続して安定的に提供していくため、施設の適切な維持管理、使用料の収納率向上のための滞納整理、未接続者への普及啓発活動に取り組み、経営の健全化を図ります。

○ 処理場管理	1,758,525
○ 管渠・ポンプ場管理	201,930
○ 使用料徴収事務委託	83,604
○ 水洗便所改造資金貸付金	12,000

②計画的、効率的な施設の建設と更新

流入水質の変化に対応するため、東広島浄化センターの改造工事を行います。

早期に未普及地域を解消するため、未普及解消整備計画に基づく污水管渠の整備を行います。

下水道サービスを継続して安定的に供給するため、ストックマネジメント計画に基づく施設の更新を行います。

雨天時の不明水による終末処理場の浸水被災を防止するため、不明水対策として污水管渠の改築を行います。

○ 東広島浄化センター改造工事	695,000
○ 污水管渠実施設計業務	284,100
○ 污水管渠建設工事	2,151,500
○ マンホールポンプ建設工事	150,100
○ スtockマネジメント実施設計業務	27,300
○ スtockマネジメント工事（污水施設）	747,300
○ 板城地区農業集落排水管渠実施設計業務等	40,000

③災害に強い下水道の構築

安全・安心の確保のため、災害を未然に防止し、被害を最小限に食い止めるため、大雨時の浸水対策やストックマネジメント計画に基づく下水道施設の更新など災害対策を推進します。

○ 雨水管渠実施設計業務	51,400
○ 雨水管渠建設工事	288,000
○ スtockマネジメント工事（雨水施設）	186,000
○ 東広島浄化センター耐震診断業務	55,000
○ 管路施設耐震診断調査等業務	67,000

2 予算（案）の規模

（1）業務予定量

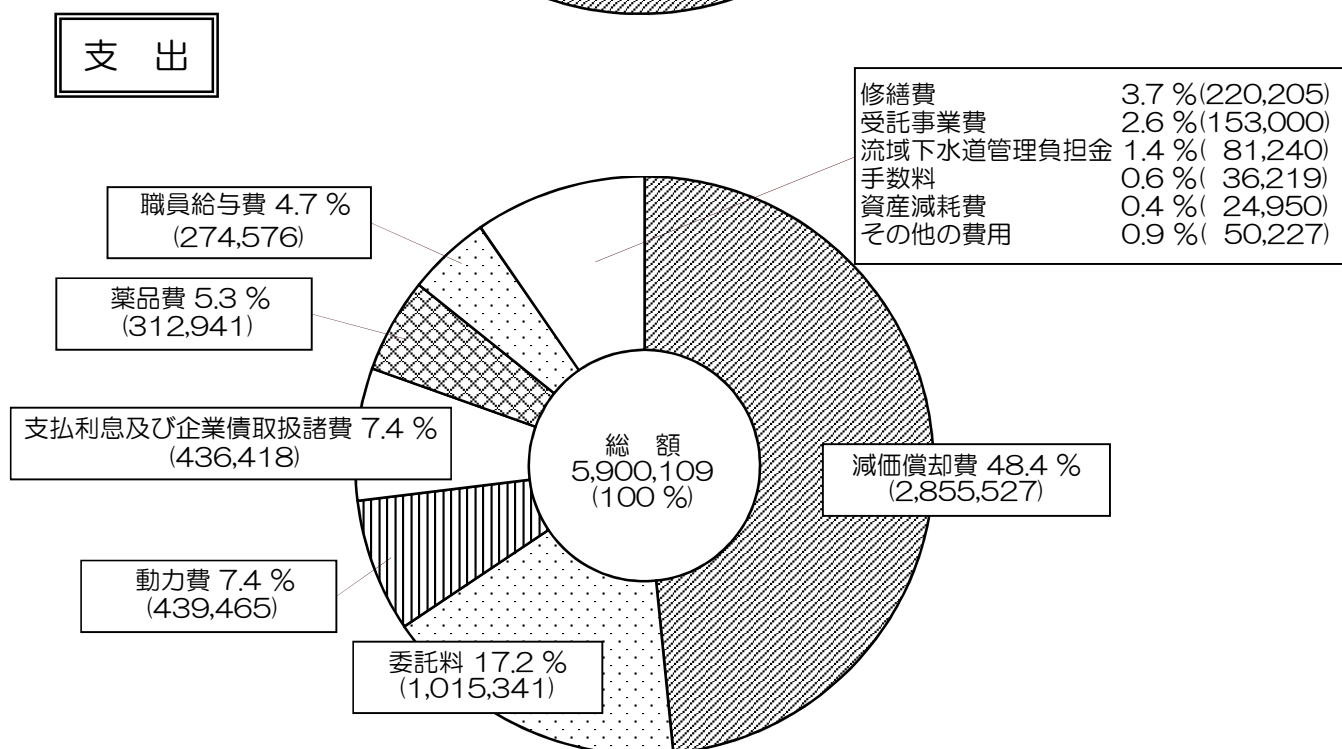
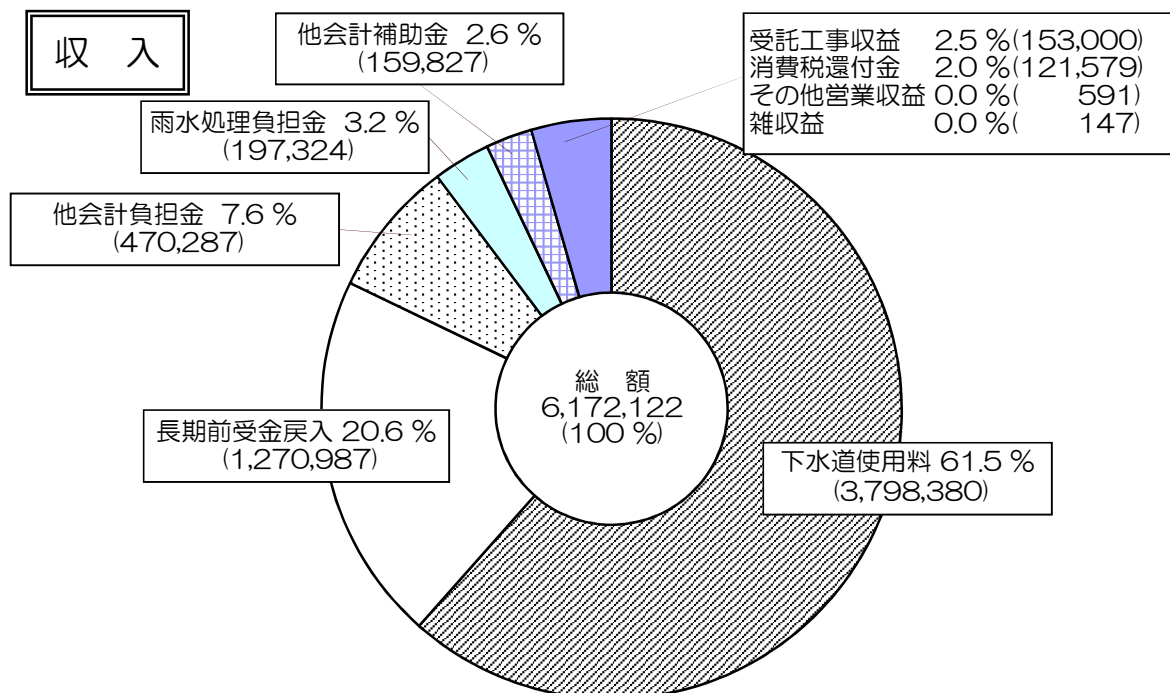
	令和5年度	令和4年度	増減	
			数値	率（%）
処理開始面積（ha）	2,374	2,365	9	0.4
年間総処理水量（m ³ ）	19,151,997	19,666,058	△ 514,061	△ 2.6
一日平均処理水量（m ³ ）	52,328	53,880	△ 1,552	△ 2.9

(2) 収益的収入及び支出予算構成図

◎収益的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	
			数 値	率 (%)
下水道事業収益	6,172,122	5,590,748	581,374	10.4
下水道事業費用	5,900,109	5,057,268	842,841	16.7
差 引	272,013	533,480	△ 261,467	



(3) 資本的収入及び支出予算構成図

◎資本的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増	減
			数 値	率 (%)
資 本 的 収 入	5,177,282	5,677,709	△ 500,427	△ 8.8
資 本 的 支 出	7,038,786	7,364,958	△ 326,172	△ 4.4
差 引	△ 1,861,504	△ 1,687,249	△ 174,255	

